

AI インタラクティブ ディスプレイ

HLT-SDBF1

取扱説明書



バージョン : 003.1-v2.0.1

発行日 : 2023年1月

この取扱説明書は、日立LGデータストレージ製 AI インタラクティブ ディスプレイのセットアップおよび使用方法についての取扱説明書です。

本取扱説明書は大切に保管してください。

本書はアプリのバージョン v2.0.1について説明しています。

異なるバージョンをお使いのお客様は、弊社ホームページからお使いのバージョンに対応した取扱説明書をダウンロードのうえ、そちらをご参照ください。

また、モバイルCMSアプリをご使用になる場合は、v1.0.1と合わせてご使用ください。

なお、製品のバージョン変更によって、取扱説明書内の挿絵及び端末画面の写真が実際の製品と異なる場合があります。また、この取扱説明書にて提供する情報は、事前の告知なく変更される場合があります。

製品に関するアップデート情報は日立LGデータストレージまでお問い合わせください。

会社情報

社名：株式会社日立LGデータストレージ

所在地：東京都港区海岸三丁目22番23号 MSCセンタービル4階

Webサイト：<https://hitachi-lg.com/jp/>

著作権

この取扱説明書に含まれる全てのコンテンツ及び挿絵、端末画面写真の著作権及び知的財産権は株式会社日立LGデータストレージに帰属します。

株式会社日立LGデータストレージによる事前の書面による承認が無くこの取扱説明書を無断で使用、複製、流通及び配布する行為は知的財産権の侵害となり厳格に禁じます。

個人情報の保護について

本製品および本製品を使用したシステムで撮影・記録された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」(*)に該当します。法律に従って、情報を適切にお取り扱いください。

*：個人情報保護委員会が定める「個人情報の保護に関する法律」についてのガイドライン(通則編)ほか3編をご覧ください。

目次

01.	製品使用時の注意事項	7
	1.1 使用前の注意事項	7
	1.2 使用時の注意事項	7
	1.3 保管時の注意事項	9
	1.4 製品管理及び操作について	9
02.	製品の概要	10
	2.1 製品について	10
	2.2 製品構成	10
	2.3 各部の名称	11
	端末本体正面	11
	端末本体背面	12
	2.4 製品タイプ	13
03.	組立方法	14
	3.1 フロアスタンドの製品構成	14
	フロアスタンド(床置タイプ)	14
	3.2 フロアスタンド(床置タイプ)の組立方法	15
04.	ご使用前の準備	19
	4.1 管理者アカウントの初期設定	19
	4.2 待機画面	20
	4.3 ナビゲーションバーの使用方法	20
	4.4 熱検知アプリの実行	21
	4.5 表示言語の変更	21

05.	端末の主な機能	23
	5.1 画像や動画の表示(CMS/コンテンツマネージメントシステム)	23
	5.2 顔認証モード	24
	5.3 勤怠管理システム	26
	5.4 防疫モード(熱検知)	27
	5.5 マスク検知モード	28
	5.6 QRコード読取	29
	5.7 ゲート連動	30
	5.8 複数端末の連動	32
06.	端末の基本設定	33
	6.1 設定メニュー	33
	6.2 端末設定	34
	6.3 顔登録	36
	6.4 アカウント変更	37
07.	ユーザー管理	38
	7.1 端末でのユーザー登録	38
	7.2 端末でのユーザー修正と削除	40
	7.3 PC/モバイル機器でのユーザー登録	43
	個別登録	43
	一括登録	44
	7.4 PC/モバイル機器でのユーザー修正と削除	48
08.	端末管理	50
	8.1 ネットワーク接続	50

8.2	端末のIPアドレスの確認	51
8.3	管理者ページへの接続	52
8.4	管理者ページの使用方法	53
8.5	ホーム画面	54
8.6	ユーザー管理	55
8.7	デバイス設定	55
8.8	アクセス履歴の確認	55
	アクセス履歴の保存	56
8.9	アクセス管理	57
8.10	勤怠履歴の確認	57
	勤怠履歴の保存	58
8.11	勤怠管理	59
8.12	端末管理	60
8.13	端末の追加登録とアクセス管理	60
8.14	コンテンツ管理 (CMS/コンテンツマネージメントシステム)	64
8.15	管理者ページからアカウント変更	70
8.16	管理者ページからのログアウト	72
8.17	ソフトウェアのアップデート	72
	オンラインアップデート	73
	PCの管理者ページを使用する場合	73
	USBメモリーを使用する場合	75
8.18	バックアップおよび復元	76
8.19	初期化	76
8.20	システムリポート(再起動)	77

09.	製品保証	78
-----	------	----

付録A	製品仕様.....	80
付録B	製品サイズ.....	81
付録C	顔登録・顔認証ガイドライン.....	82

01. 製品使用時の注意事項

本製品を安全にご使用いただくために、以下の注意事項を必ずお読みになり、指示に従って製品をご利用ください。

尚、本書では製品を説明する際、下記のような表現にしています。

- ・製品：端末本体 + ACアダプター及び、別売のスタンドで構成されるもの
- ・端末：P.10に示す端末本体
- ・モバイル端末：タブレットやスマホなど

1.1 使用前の注意事項

- ・ 本製品は室内用としてのみお使いください。
- ・ 製品が倒れたり、落下したりしないよう、安全な場所に設置してください。
- ・ 製品を使用する際には、製品を安全な場所に設置できたことを確認してから、指定の箇所にACアダプターを接続してください。
- ・ 本製品は赤外線熱検知測定方式を採用しておりますので、次のような設置場所は避けてください。なお、正しい設置場所でお使い頂けない場合、測定値が正常とならなかったり、センサーが損傷する場合があります。
 - ・ 端末本体に直射日光や、エアコン、暖房機などの熱が直接あたる場所。
 - ・ 端末本体の画面に、直射日光や、照明などの直接光が当たる場所。
 - ・ 画面に写る背景に、太陽光があたっている壁、柱、車などが写り込む場所や方向。
- ・ 過度な湿気を避け、製品内部に水などの液体や異物が入らないように注意してください。
- ・ 本製品は日本国内向けに製造されています。外国では電源電圧、電源プラグの形状などが異なり、そのままでは使用できない場合があります。

1.2 使用時の注意事項

- ・ 製品を分解、修理、改造したり、衝撃を与えたりしないでください。製品を分解、修理、改造された場合は、製品保証の対象外となります。
- ・ 接続したケーブルに無理な力を加えないでください。ケーブル接続部が緩くなったり断線したりする可能性があります。
- ・ ボタンまたは画面に無理に力を加えたり、先の尖った道具などで力を加えたりしないで

ください。ボタンまたは画面の破損の原因になります。
USBマウスなどでの操作も可能です。ご検討ください。

- 製品や画面の汚れを取る場合は、アルコールなどの化学物質や洗剤を使用せず、柔らかい布でやさしく拭き取ってください。

硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、製品の外観やパネル表面のフィルムに傷が付きますのでご注意ください。

ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、製品の外観やパネル表面が変質したり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性/ アルカリ性/ 研磨剤入り洗剤などは、その成分により、製品の外観やパネル表面が変質したり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

- 製品が正常な動作を行うために、電源投入後、30分経過後を目安に、使用を開始してください。
- 正確な温度測定のため、画面に表示される顔のガイドラインに被測定者の顔の位置を合わせてから熱のチェックをしてください。
- 季節ごとの室外温度によって測定温度の精度に影響を及ぼす可能性があるため、特に夏場や冬場に外出から戻った際には、しばらく待ってから測定してください。
- 製品から異臭や煙が発生、あるいは製品の異常な動作が生じた際には、すぐにコンセントからACアダプターを抜いてください。感電、火災の原因になります。
- 製品に同梱されたACアダプター以外は使用しないでください。同梱されたACアダプター以外を使用した場合、故障、感電、火災の原因になります。
- 端末内にプリインストールされたソフトウェアやファイルを削除したり、プリインストールされたソフトウェア以外のソフトウェアをインストールしたりしないでください。端末が正常に動作しなくなる場合があります。
- 製品の故障が疑われる場合は購入先の販売店へお問合せください。
- 本製品に記録されたデータ(登録済みのユーザー情報や、アクセス履歴等)は、当社では保証せず、当該データの消失、破損、変更等につきましては、当社は一切責任を負いません。データの消失、破損等に備え、外部記憶装置などに定期的にバックアップをとられることをお勧めいたします。バックアップの方法は、製品取扱説明書「8.18 バックアップおよび復元」を参照してください。

1.3 保管時の注意事項

- 未使用時はACアダプターをコンセントから抜いて、端末の電源をOFFにしてください。また、長期間使用しない場合は、ACアダプターを端末本体から抜いた状態で保管してください。
- 日光や照明などの光が直接当たらず、常温、乾燥した場所に保管してください。
- 薬品の近くやガスが発生する場所など、火災の危険がある場所を避けて保管してください。

1.4 製品管理及び操作について

- 製品取扱説明書の図は、実物と異なる場合があります。内容は性能改善のためユーザーへの予告なしに変更することがあります。
- 本製品は、熱を検知して入退を管理する防疫補助のための製品であり、疾病予防及び診断のための医療機器ではありません。発熱症状が疑われる場合、医療用体温計で正確な体温測定を行ってください。
- 本製品を他の機器と接続して使用する場合、事前に当該機器と本製品との適合性についてご確認ください。
- 無線LAN（WLAN）の仕様及びネットワーク接続についてのお願い

無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。

ネットワーク接続に際しては（無線LAN（WLAN）を使用する場合に限らず）、お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、本製品を利用することを推奨します。お客様において、適切なセキュリティの設定を行わず、本製品を利用した場合、データや情報の漏洩等のセキュリティ事故が発生しましても、当社は、お客様に生じた損害について何ら責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※本製品は、本書所定の用途でのみ、安全にネットワーク接続が可能な製品です。その仕様上、他の用途によるネットワーク接続を想定したセキュリティ機能は備えておりませんので、（お客様によるセキュリティ設定の如何によらず、）本書所定の用途でのみ、本製品をご利用ください。お客様において、本書記載の用途以外の用途でネットワークへ接続した場合、セキュリティ事故が発生しましても、当社では、これによってお客様に生じた損害について、一切の責任を負いかねます。

02. 製品の概要

2.1 製品について

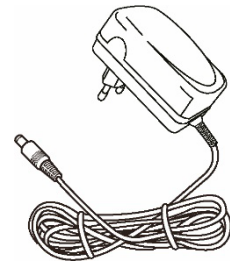
AI インタラクティブ ディスプレイは、熱やマスク未着用の検知と顔認証を、非接触・同時・高速・高精度に行なうタッチパネル型ディスプレイ製品です。

- ※ 本製品は医療機器ではありません。
病気の予防や診断のための体温測定には医療用体温計をご使用ください。

2.2 製品構成



端末本体



ACアダプター



クイックガイドマニュアル

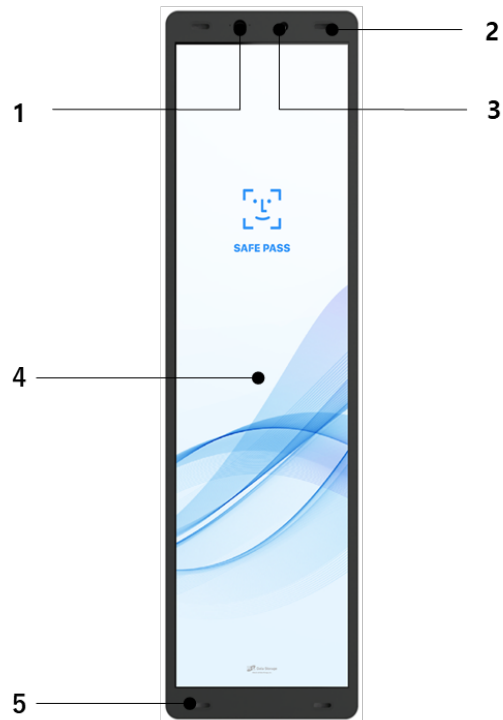


参考

製品構成は、製品の性能や品質向上のために予告なく変更となる場合があります。

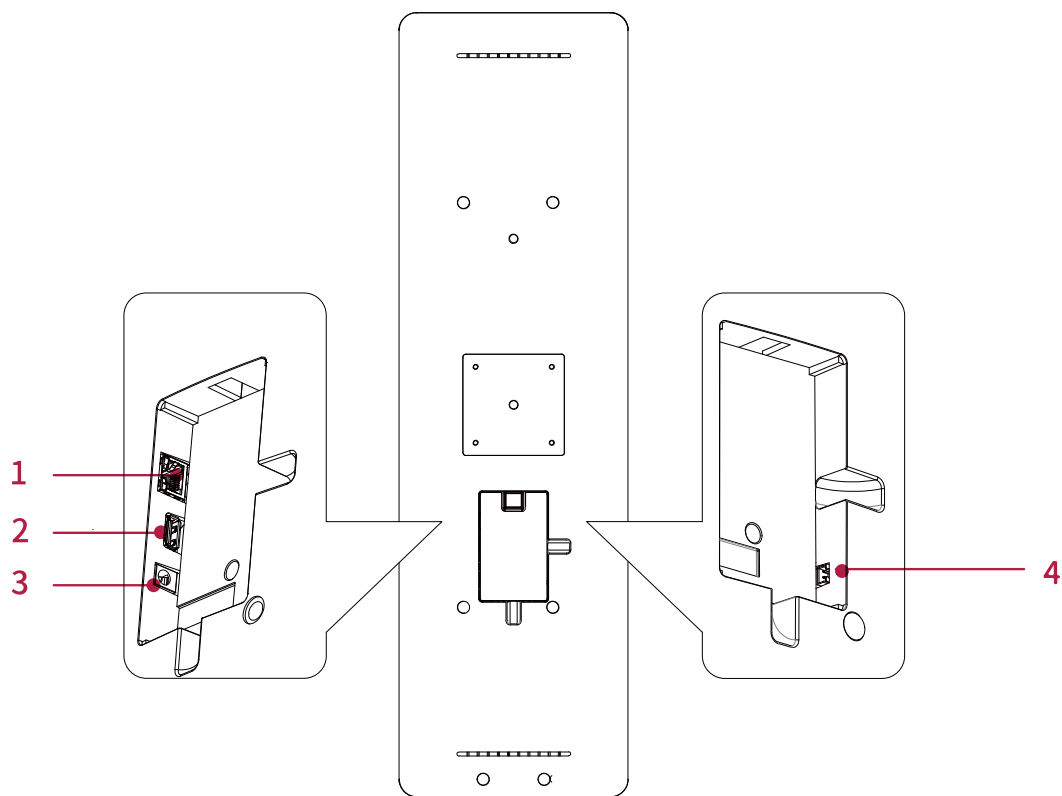
2.3 各部の名称

端末本体正面



No.	名称	説明
1	RGBカメラ	顔認識/マスク検知用のカメラです。
2	白色LED	顔認証/熱検知/マスク検知時の補助照明
3	赤外線熱検知センサー	温度測定用のセンサーです。
4	29インチタッチディスプレイ	画像、動画を表示します。 ソフトウェアの各種動作状況や結果を表示します。 端末の動作設定を行います。
5	スピーカー	測定及び結果の音声案内と警告音が鳴ります。 音声案内と警告音は、それぞれオン/オフ設定が可能です。

端末本体背面



No.	名称	説明	接続方法及び通信方法
1	RJ-45	LAN接続	TCP/IPを使ったイーサネット通信
2	USB	USB Host	USBメモリーなどの接続に使用
3	DC Jack	12V電源入力	DC PLUGを接続して電源供給
4	Relay	Relay出力	ゲートなど、外部接続機器の制御出力

2.4 製品タイプ

同梱されたスタンドを使って取り付けした場合の、製品の状態をご紹介します。

床置き出来るフロアスタンドの例です。



フロアスタンド(床置タイプ)



参考

- フロアスタンド(床置タイプ)の製品の組み立て方法は、14ページ「3.1 フロアスタンドの製品構成」を参照してください。

03.組立方法

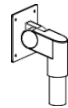
本項では、同梱されたフロアスタンドなどを使用した場合の組み立て方を説明します。フロアスタンドをご使用されないお客様は、No.6の手順をご確認ください。



- 手袋などをして、鋼板の切り口や角で手をケガしないよう十分気を付けて作業をしてください。
- 安全を考えて2人で作業し、不安定な場所での作業、不安定な場所への設置は避けてください。

3.1 フロアスタンドの製品構成

フロアスタンド(床置タイプ)



VESAプレート



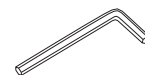
VESA固定ねじ(M4×10mm) 4個



スタンド支柱



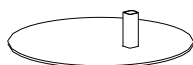
スタンド固定ねじキャップ 4個



レンチ 1個



VESAプレート×スタンド支柱固定ねじ 2個
(六角穴付ボルト M4×8mm)



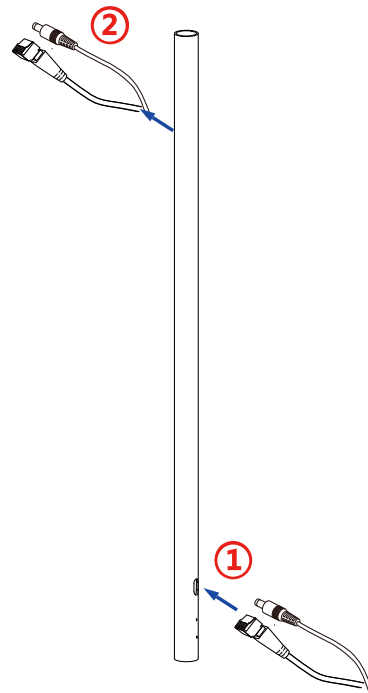
スタンド台



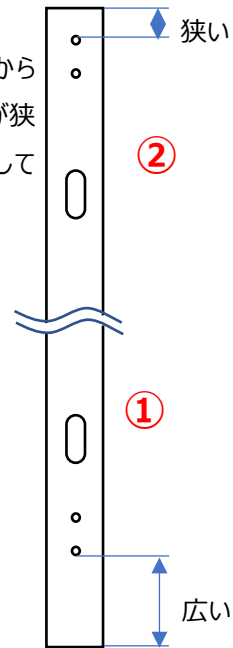
スタンド支柱×スタンド台固定ねじ 2個
(六角穴付ボルト M4×8mm)

3.2 フロアスタンド(床置タイプ)の組立方法

- 1 本体につなぐケーブル(ACアダプター、必要に応じてLAN、Relay用ケーブルなど)は、スタンド支柱の下部の穴(①)から押し込み、上部の穴(②)から取り出しておきます。

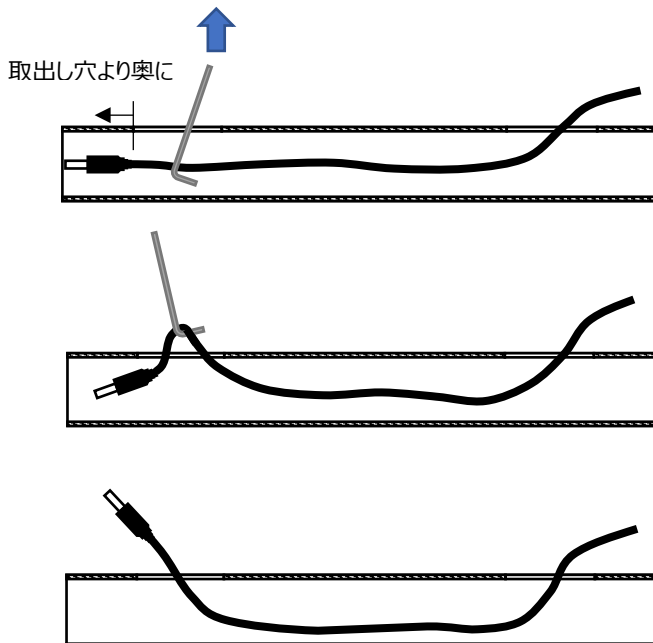


スタンド支柱の端から
ねじ穴までの間隔が狭
い方(②)を上側にして
組み立ててください。



【参考】ケーブルの通し方

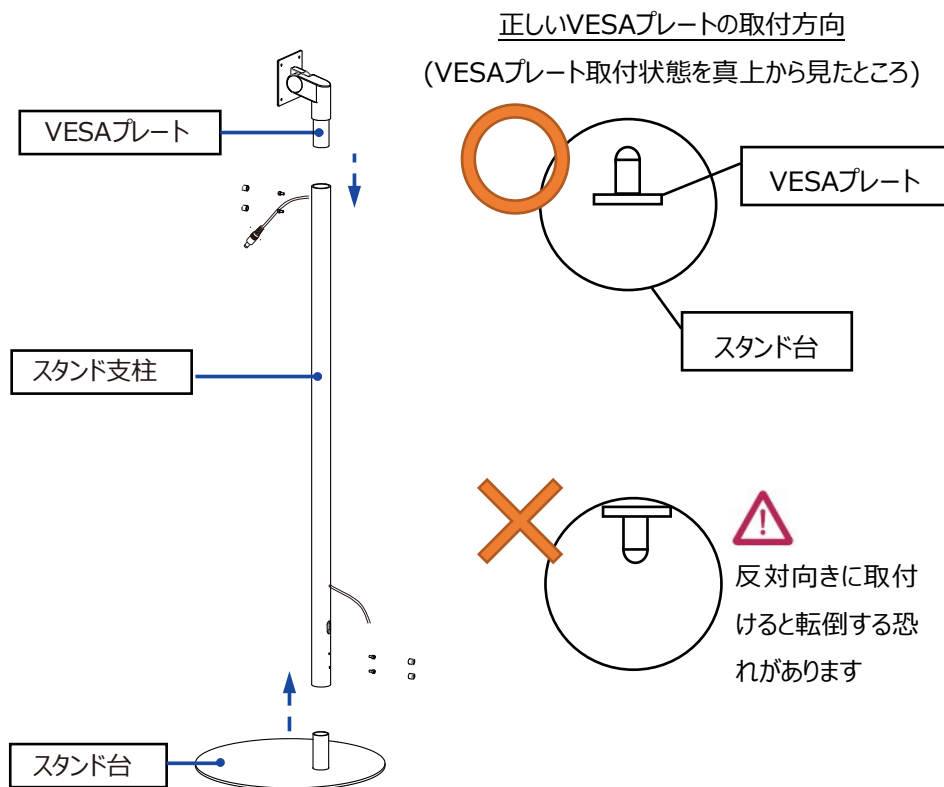
※組立時はACアダプターはコンセントに挿さなくて組立を行ってください。



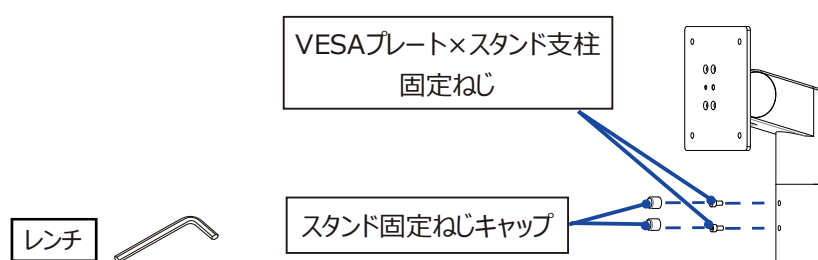
端子の先端を取出し穴より奥に送っておき、
線材に付属の六角レンチを引っかけます

線材が外に出たら、先端の端子を取り出します

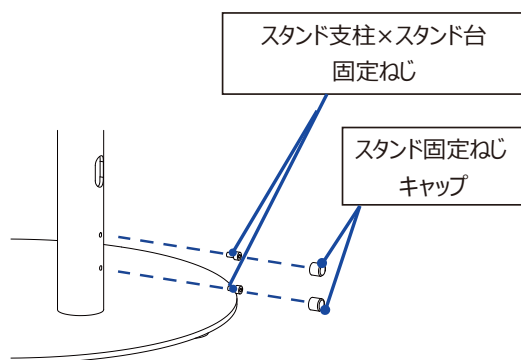
- 2** VESAプレート、スタンド台とスタンド支柱を組み立てます。
スタンド支柱および、VESAプレートの取付向きは、スタンド台を真上から見た時、端末本体が中央付近に来るようにVESAプレートを取り付けます(反対方向に取り付けると、設置時に転倒することがありますので注意してください)。



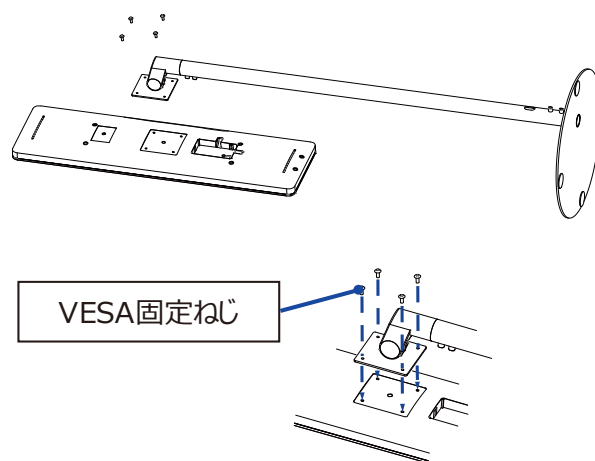
- 3** 付属のレンチを使用してVESAプレートとスタンド支柱をねじで固定しキャップをかぶせます。



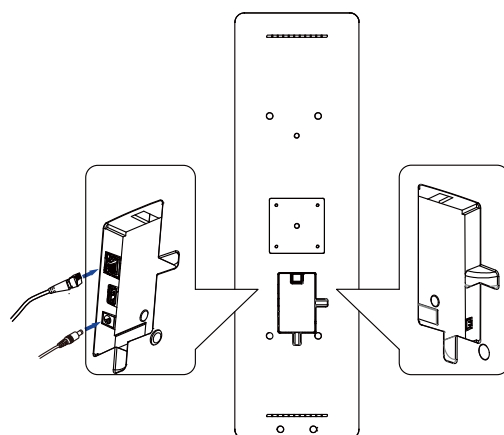
- 4 付属のレンチを使用してスタンド支柱とスタンド台をねじで固定しキャップをかぶせます。



- 5 端末本体とVESAプレートを4つのねじでしっかりと固定します。



- 6 端末背面にあるカバーを開いてポート(電源、LANなど)にケーブルを接続します。ケーブル接続後に、カバーを取り付けます。その際、ケーブルは横/下部の溝に通して、カバーと干渉しないようにしてください。



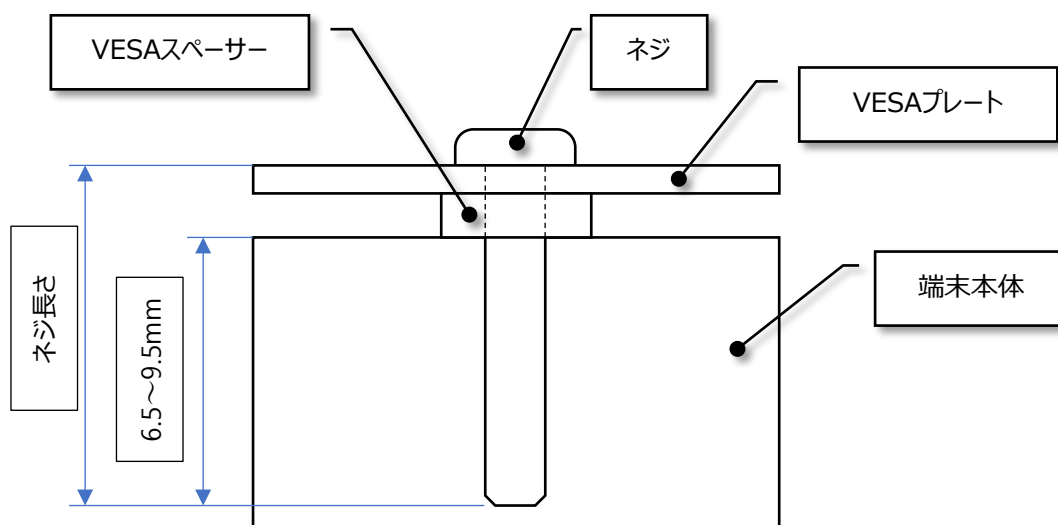
- 7 使用したい場所へ製品を設置して、完成です。ACアダプターをコンセントに挿し込み、ご使用ください。



- スタンド(HLT-USBL2)は、(株)日立LGデータストレージ製 HLT-SDBF1の専用モデルです。
- 他の製品を取付けると、機器の落下やスタンドの転倒等により、機器の破損、故障の原因となる可能性があります。
- 付属のVESA固定ネジ(M4×10mm)以外のねじを使用する場合は、下記寸法の範囲内でねじを選定し、使用してください。これ以外の長さのねじを使用した場合、製品内部を破損させる場合がありますので、ご注意ください。

推奨VESA固定ネジ長さ : (VESAプレート厚さ t1)+(VESAスペーサー厚さ t2)+6.5mm 以上

(VESAプレート厚さ t1)+(VESAスペーサー厚さ t2)+9.5mm 以下



04.ご使用前の準備

4.1 管理者アカウントの初期設定

端末の初回使用時に電源を入れると、管理者アカウントの初期設定画面が表示されます。任意のユーザー名(英数字4~12桁)とパスワード(英数字記号8~12桁)を設定してください。なお、パスワードは英字、数字、記号の組合せで設定する必要がありますので、ご注意ください。

設定後、通常の待機画面へ移動します。

アカウント設定

ユーザー名 4~12桁

パスワード 8~12桁

パスワードの再入力 パスワードの再入力

アカウント設定

IPアドレス: 192.168.0.4



参考


- 管理者アカウントのパスワードは変更することができます。変更方法の詳細については、70ページ「8.15 管理者ページからアカウント変更」を参照してください。
- ユーザー名、パスワードが不明となった場合、有償の修理（初期化）が必要となりますので紛失せぬよう、ご注意ください。この際、ユーザー登録/履歴データは消去されます。

4.2 待機画面

管理者アカウントを設定すると、熱検知アプリが起動し、以下の待機画面が表示されます。待機画面の状態ですぐに顔をかざすと、顔が検知されて測定を開始します。一定時間、顔の検知が行われない場合は、待機画面に戻ります。

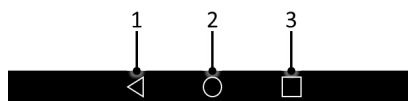
熱検知測定の例



待機画面右側上段の  設定アイコンをタップすると、端末の動作に関するさまざまな設定を行うことができます。

4.3 ナビゲーションバーの使用法

端末の画面下部を上へスワイプすると、ナビゲーションバーが表示されます。





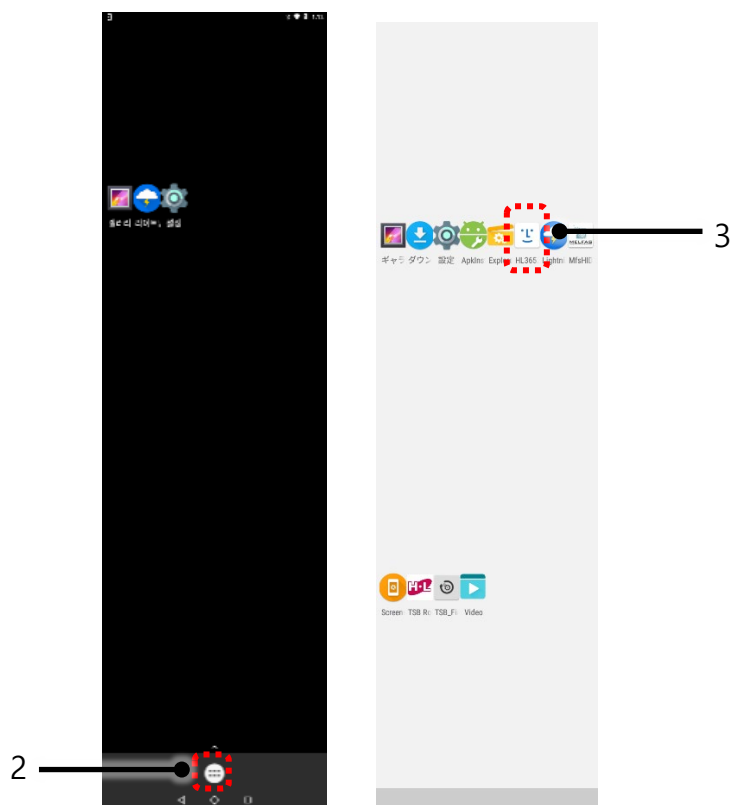
- 1 前の画面に戻ります。熱検知アプリ実行中にタップすると、アプリを終了できます。
※通常は熱検知アプリを終了せずに製品を使用してください。
- 2 基本メニュー画面に移動します。
- 3 最近実行したアプリ一覧を表示します。

4.4 熱検知アプリの実行

端末の電源を入ると、熱検知アプリ[HL365.FIS]が自動で実行されます。

自動でアプリが実行されない場合、またはアプリが終了して手動で再度実行する場合の方法は、以下の通りです。


- 1 端末の画面下部を上へスワイプします。
- 2 ナビゲーションバー上部の  ボタンをタップします。
- 3 アプリ一覧で 熱検知アプリ  [HL365.FIS]をタップします。



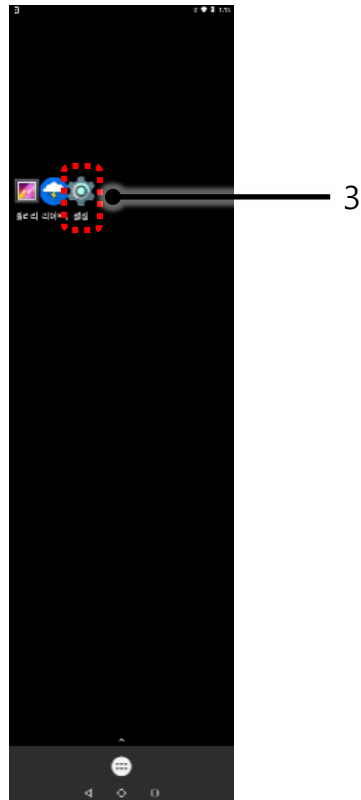
4.5 表示言語の変更

端末の表示言語を変更する方法は、以下の通りです。

※変更するには熱検知アプリを終了してから設定をしてください。

- 1 端末の画面下部を上へスワイプします。
- 2 ナビゲーションバー上部の  ボタンをタップします。

- 3 設定メニュー  を選択します。



- 4 設定メニューで、[言語と入力] > [言語]を選択します。

- 5 変更する言語を選択します。

端末の電源を入れ直す、または熱検知アプリを再度実行すると、選択した言語が適用されます。



参考

熱検知アプリが対応する言語は、日本語、韓国語、英語、中国語です。

05. 端末の主な機能

本端末は、好きな画像や動画を、本体のディスプレイ部に表示させることができます。

また、顔認証モードと防疫モード(熱検知及び、マスク検知)をサポートしており、顔認証モードと防疫モード(熱検知及び、マスク検知)は同時に使用することができるうえ、ゲート連動機能とそれぞれ連携させることで、様々な入退管理が実現できます。



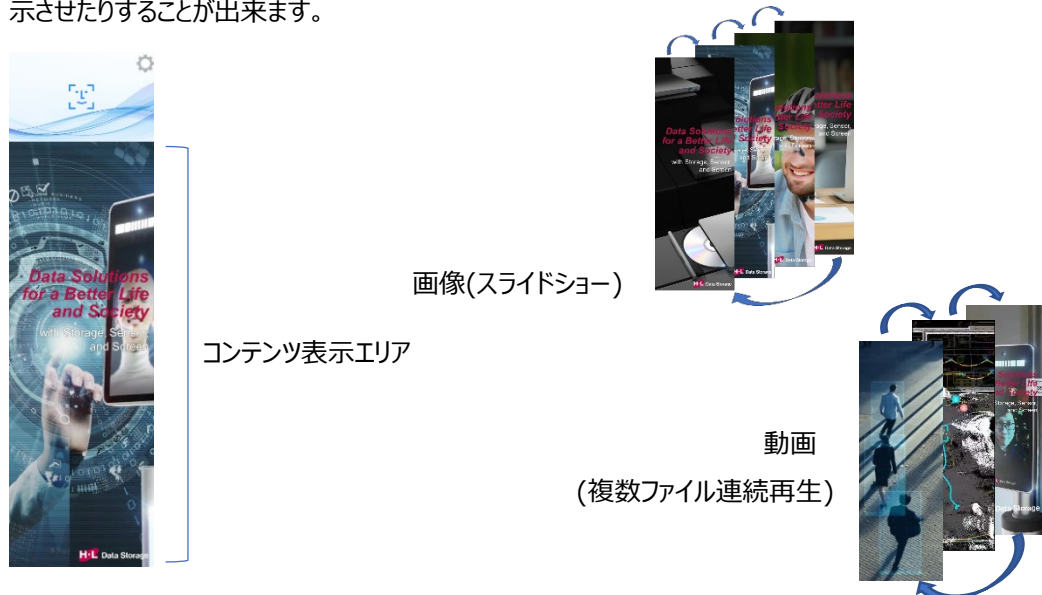
参考

本項で紹介する機能を動作させるためには、[設定]>[端末運用モード]内で各種設定を行う必要があります。

5.1 画像や動画の表示(CMS/コンテンツマネジメントシステム)

CMSを操作して、AI インタラクティブ ディスプレイのコンテンツ表示エリアに、画像や動画を表示させることができます。

複数枚の画像を登録してスライドショー形式で表示させたり、動画ファイルをコンテンツ表示エリアに表示させたりすることができます。



AI インタラクティブ ディスプレイでCMSを利用するには、2通りの方法があります。それぞれ機能が異なりますので、ご使用の目的に沿ったご利用が可能です。

一つは、スマートフォンなどのモバイル機器に専用の“HL365”アプリをインストールして、“HL365”から

コンテンツを指定する方法です。Google play storeからHL365をダウンロードしてお使いください。スマートフォン内の画像、動画を様々なレイアウトで手軽に表示させることができます。

もう一つの方法では、PCやモバイル機器で本体端末の管理者ページに接続してCMSを使用します。下図のようにコンテンツ表示エリアにコンテンツを表示させ、設定した時間で表示を切り替える、シンプルな使い方ができます。

50ページ「8.1 ネットワーク接続」及び、52ページ「8.3 管理者ページへの接続」を参照して本体の管理者ページに接続し、64ページ「8.14 コンテンツ管理 (CMS/コンテンツマネージメントシステム)」を参考に、画像や動画の設定を行ってください。

5.2 顔認証モード

ユーザーの顔写真を登録して、顔認証で入退を管理するモードです。

登録者/未登録者の判定が行えますので、ゲートと連動させることで、来訪者の入退を制御することができます。

また、マスクを着用したまま顔認証が行えます。認証結果は音声と画面表示でお知らせします。設定により、警告音を鳴らすこともできます。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。



- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

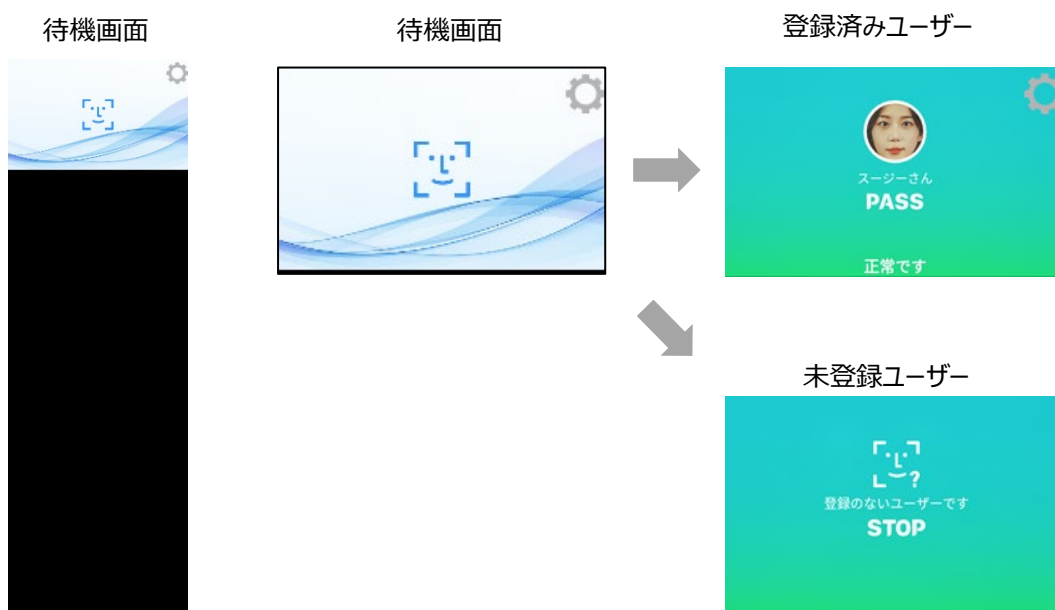
- 3 [設定]画面で、[端末運用モード]を選択します。



- 4 顔認証をオンにすると、顔認証モードで動作します。



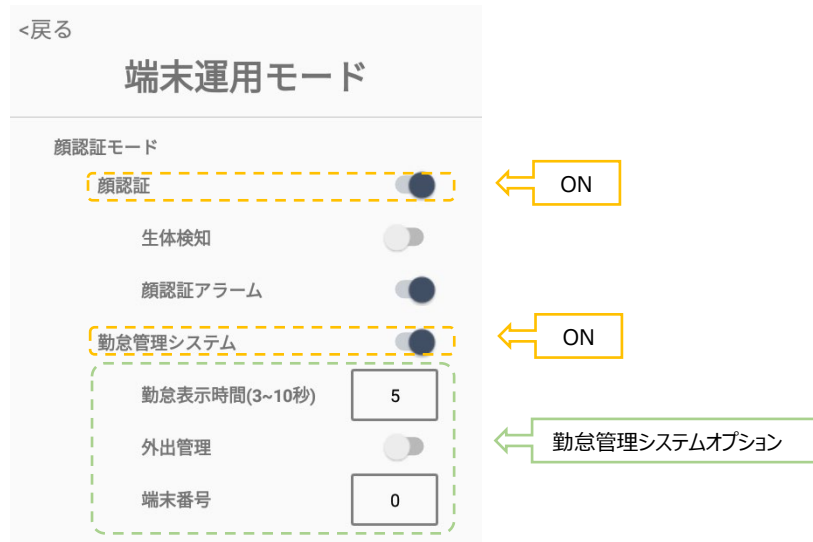
- 顔認証：顔認証のON/OFFを設定します。顔認証距離は0.3～0.8m、推奨0.5mです。判定結果は画面に表示されます。
 - 生体検知：顔認証モードでの動作時に、写真でのなりすまし認証ができないように設定します。
 - 顔認証アラーム：顔認証がNGまたは未登録者の場合、音声と画面表示でお知らせします。



5.3 勤怠管理システム

勤怠管理システム：勤怠管理システムと連携するためのモードです。顔認証と併用して、出退勤の種別などを入力/記録することができます。

- 1 端末運用モードのメニュー画面で顔認証をON、勤怠管理システムをONにします。



顔認証が「正常です」と判定されたら、勤怠メニューから出退勤/外出戻りなどの勤怠種別を登録できます。登録した勤怠種別は勤怠履歴から確認できます。勤怠履歴確認の詳細は57ページ「8.10 勤怠履歴の確認」を確認してください。

[勤怠管理システムオプション]

- 勤怠表示時間：勤怠入力画面の表示時間を設定(3~10秒)します。
- 外出管理：出退勤の種別入力時に、[外出]と[戻り]ボタンを追加して表示します。

顔認証後、出勤、退勤、外出、戻りボタンを押すと、勤怠種別が登録されます。



- 端末番号：入退出した端末を区別するために、端末に任意の番号をつけることができます。番号は0~999まで設定が可能です。勤怠種別登録時に端末番号も一緒に、外部連携した勤怠管理システムに登録されます（本製品のアクセス履歴には残りませんのでご注意ください）。

5.4 防疫モード(熱検知)


熱検知を行うモードです。

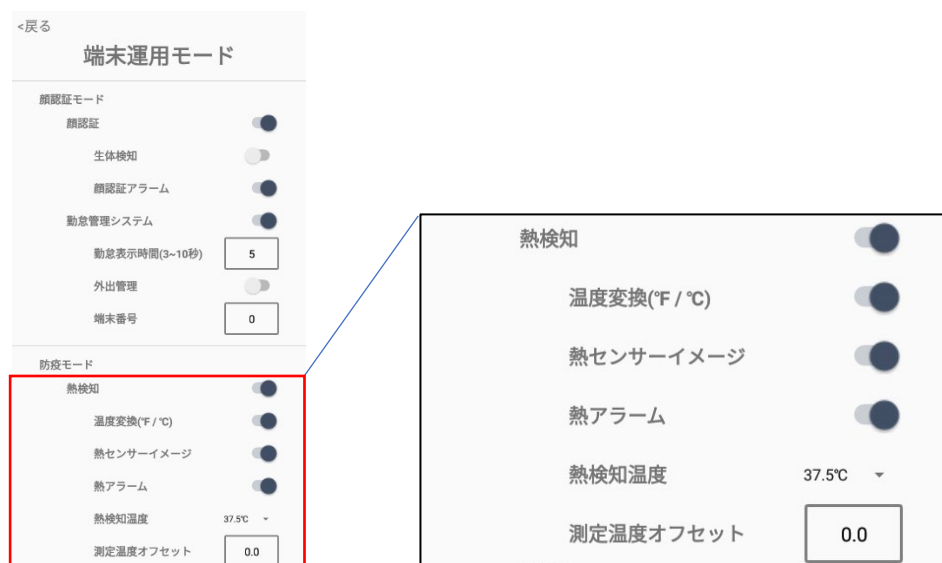
熱検知モード：対象物の表面温度を測定します。

設定した温度以上の熱が検出されると、音声と画面表示でお知らせします。

設定により、警告音を鳴らすこともできます。

ゲートコントロール機能と連動できます。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末運用モード]を選択します。
- 4 熱検知をオンにすると、熱検知モードで動作します。



- 熱検知：対象物の表面温度を測定します。測定結果は画面に表示されます。
 - 温度変換(°F/°C)：温度表示の単位を選択します。
 - 熱センサーイメージ：顔認証結果画面で、下段左側に、熱センサーで測定された結果がイメージで表示されます。



- 熱アラーム：[熱検知温度]に設定した温度以上の熱が検出されると、音声と画面表示でお知らせします。
- 熱検知温度：熱検知の判定基準温度を設定します。37℃～38℃間の5段階から選択できます。
- 測定温度オフセット：測定された温度を、周辺環境による偏差(オフセット)を加えて補正します。オフセット値を設定する場合は、何名かの実際に測定された温度と、体温計等で測定した値を比較して値を設定してください。マイナスの値を入れることも出来ます。

四角の枠内をタップして、測定温度をオフセットさせる数値を入力します。

例 2.0：測定温度+2.0が測定結果として画面に表示されます

-2.0：測定温度-2.0が測定結果として画面に表示されます

5.5 マスク検知モード

マスク検知：マスクの着用有無を検知します。

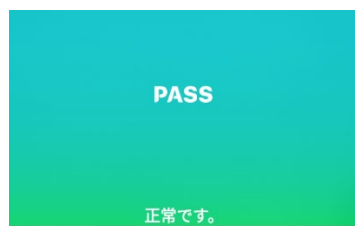
未着用アラーム：マスク未着用の場合、警告音を鳴らします。

ゲートコントロール機能と連動できます。

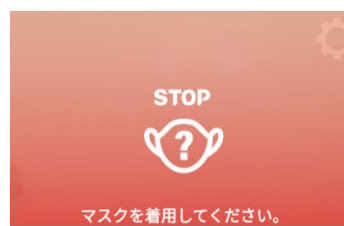
- 1 待機画面右側上段の 設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末運用モード]を選択します。
- 4 マスク検知をオンにすると、マスクモードで動作します
 - マスク検知：マスクの着用有無を検知します。
 - 未着用アラーム：マスク未着用の場合、音声と画面表示でマスクの着用を促します。



マスク着用




マスク未着用



5.6 QRコード読取

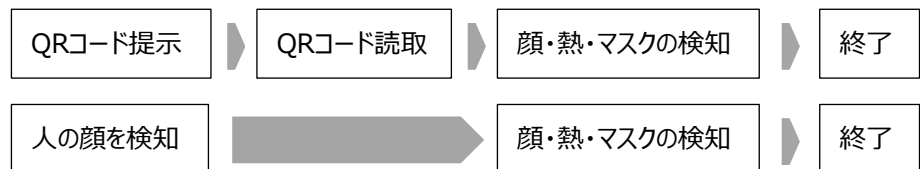
QRコード：QRコードを読み取って、結果を保存します。読み取ったQRコードの内容を確認するには、55ページ「8.8 アクセス履歴の確認」を参照してください。

尚、読み取ったQRコード情報をデータベース等と照合して認証する機能は、今後追加していく予定です。本バージョンでは読取結果を保存するまでの機能ですので、ご注意ください。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末運用モード]を選択します。
- 4 QRコードをオンにすると、QRコードの読み取りモードが動作します。待機画面で人の顔が検知されれば顔・熱・マスクの検知モードが動作し、結果を表示して終了します。QRコードが提示されれば、QRコードを読み込んだ後、熱検知などの他のモードに遷移します。



QRコードオン時の動作




- QRコード優先：QRコード優先をオンにすると、他のモードの設定に関わらず、QRコードの読み取りのみ動作するようになります。

5.7 ゲート連動

ゲート連動：顔認証、熱検知及び、マスク検知の結果を、それぞれゲート制御と連動できる機能です。

顔認証や熱検知などの各認証モードでOKと判定されたら、Relayをオン(ショート)させます。通常は、Relayオフ(オープン)の状態となり、NGと判定された場合および、電源offの場合は、そのままRelayをオフ(オープン)の状態を保持します。デバイス背面のRelayポートに他の機器を接続して使用します。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末運用モード]を選択します。

- 4 ゲート連動をオンにすると、顔認証モード、熱検知、マスク検知モードとそれぞれ連動させることができます。



- Relayスイッチをゲートなどの関連設備に接続して、顔認証モード、防疫モード及び、マスク検知の判定結果をもとに、ゲートの開放/閉鎖などをコントロールできます。それぞれのモードの判定とRelay動作の関係は下記のとおりです。

ゲートを開けると判定(認証OK)：Relay接点をオン(ショート)にします。

ゲートを閉めると判定(認証NG)：Relay接点をオフ(オープン)のまま保持します。

※通常および、電源オフ時は、Relay接点はオフ(オープン)です。

- コントロール：ゲート制御のON/OFFを設定します。
- 未登録ユーザーコントロール：顔認証と連動します。
- 熱アラーム時コントロール：熱検知と連動します。
- マスク未着用時コントロール：マスク検知と連動します。
- QRコード読取とは連動しませんので、ご注意ください。



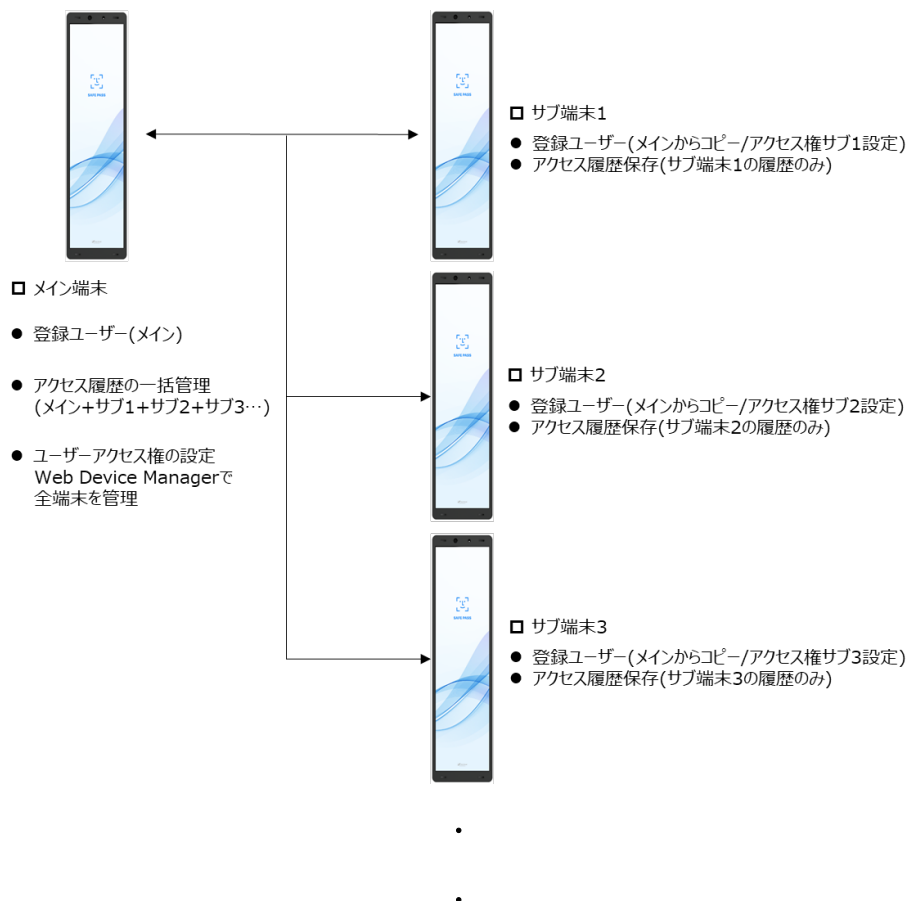
参考

- Relayポートを利用し、ゲートをコントロールできます。
Relayポートのコネクタには、JCTCジャパン株式会社製 12501W90-2Pを使用しています。Relayポートご使用の際は、これに対応したコネクタ (ハウジング 12501H00-2PX-XX に、端子 12501TOP-XX-S を組合わせたもの) にケーブルを接続したものをご用意ください。

5.8 複数端末の連動


顔認証や熱検知、マスク検知などで入退管理を行う場合に、複数の端末を連携させて、ユーザー登録、アクセスコントロールやアクセス履歴などの管理を行うことが出来ます。1台のメイン端末に対して、最大5台のサブ端末を接続することが出来ます。設定の詳細は、60ページ「8.13 端末の追加登録とアクセス管理」を参照してください。

- メイン端末で登録したユーザーを、すべてのサブ端末に自動で送信し、共有します。
※サブ端末でのユーザー登録はできません。
- メイン端末で、すべての端末の入退制限などのアクセス権の管理が出来ます。
※ユーザー毎にサブ端末のアクセス権を設定してください。
※一括設定もできます。
- メイン端末で、すべての端末のアクセス履歴を集約し、確認することが出来ます。
- サブ端末は、端末本体で下記の操作が可能ですが、アカウント変更は無効になります。
[端末設定]、[端末運用モード]、[顔登録]



06. 端末の基本設定

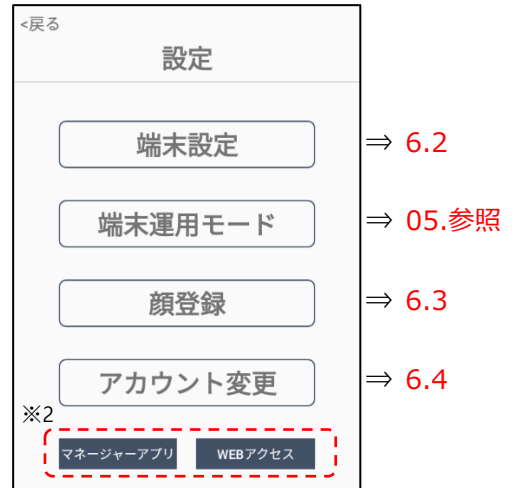
6.1 設定メニュー

待機画面右側上段の  設定アイコンをタップすると、端末の動作に関するさまざまな設定を行うことができます。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。



- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力すると、以下の設定メニュー画面が表示されます。各メニューの設定方法について、6.2以降で説明していきます。



設定画面の[マネージャーアプリ]ボタンはモバイルアプリ“HL365”を使って、モバイル機器とAIインタラクティブサイネージを接続するときに使用します。

[WEBアクセス]ボタンについては、8.2 端末のIPアドレスの確認を参照してください。

※1：ストレージ使用量が80%を超えるとCMSで使用するコンテンツの追加ができなくなります。P.69を参考にして、未使用のストレージ容量を確保してください。

※2：ネットワークに接続していない場合は、表示されません。

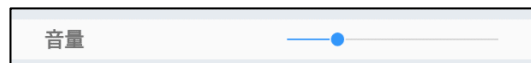
6.2 端末設定

端末設定では、端末名、ネットワーク接続、音声、LED、アクセス履歴の保存関連、バックアップや初期化など、端末の基本的な設定を行うことができます。

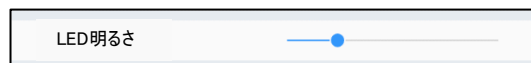
1 6.1[設定]メニュー画面で、[端末設定]を選択します。

2 必要なオプションをオン/オフ、または入力します。

- 端末名：端末に任意の名前を付けることができます。
- ネットワーク：ネットワーク接続時、端末のIPアドレスが表示されます。
- ウェブアクセス：端末の管理画面に接続する際、WEBブラウザのアドレスバーに入力する内容が表示されます。
- 連動：Multidevice接続の状態を表示します。
- 待機画面（全画面）：ONにすると画面全体を待機画面とします。
- 音声案内：端末の音声案内出力をオン/オフすることができます。
「近づいてください」の音声案内をミュートにする：端末から1m以上離れた状態で顔を検知した際に「もう少し、近づいてください」と音声案内がでますが、その音声案内をミュートする機能です。なお、このスイッチのON/OFFに関わらず、画面上は「近づいてください」と表示されます。
- 音声：[男性]または[女性]の音声に切り替えることができます。
- 音量：端末の音声案内出力のボリュームをスライドバーで設定します。



- LED明るさ：顔認証モードや防疫モードで確認を行う際に照射するLEDの明るさを調整します。



- 結果の表示時間：結果画面の表示時間を設定することができます。
1秒単位で、1秒～10秒の間で設定できます。
- アクセス履歴：アクセス履歴に関する設定を行います。
 - 保管期間：アクセス履歴を保管する期間を設定することができます。
 - 写真の保存：アクセス時に撮影されたユーザーの顔写真を保存する/しない、を設定することができます。

- バックアップと復元：ソフトウェア設定などのバックアップと復元を行います。
詳細は、76ページ「8.18 バックアップおよび復元」を参照してください。
- 初期化：端末の初期化を行います。
詳細は、76ページ「8.19 初期化」を参照してください。
- システムリポート(毎日)：定期的なリポートに関する設定することができます。
 - リポート：定期的なリポートのオン/オフを設定します。
 - 時間設定：[時間設定]ボタンを押して、リポートする時間を設定します。
午前/午後、時、分を上下スクロールで希望の時間に合わせ、[時間設定]>[確認]
と押すと時間設定が完了します。
- ソフトウェア情報：ソフトウェアの現在のバージョンが表示されます。
- アップデート：端末のソフトウェアのアップデートを行います。
詳細は、72ページ「8.17 ソフトウェアのアップデート」を参照してください。

3 画面左上の[<戻る]をタップすると設定完了です。

6.3 顔登録

端末を使って、顔認証を利用するユーザーの顔データを登録します。

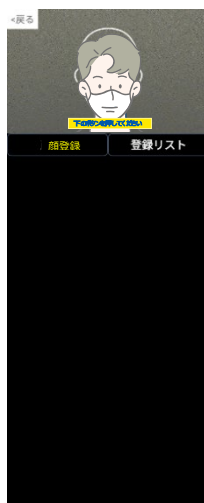
端末本体では、ユーザーの個別登録と削除、情報の修正などができます。

詳細は、38ページ「7.1 端末でのユーザー登録」及び、40ページ「7.2 端末でのユーザー修正と削除」を参照してください。

顔認証を押して顔登録を行います

ユーザー番号とユーザー名を入力し、ユーザー登録します。

顔登録の操作画面



6.4 アカウント変更

管理者アカウントのパスワードは変更することができます。変更方法は以下の通りです。

- 1 6.1[設定]メニュー画面で、[アカウント変更]を選択します。
- 2 [現在のパスワード]、[新しいパスワード]、[パスワードの再入力]を入力して、[アカウント変更]をタップします。
 - パスワードは、8～12桁の英数字記号が設定できます。なお、パスワードは英字、数字、記号の組合せで設定する必要がありますので、ご注意ください。
 - ユーザー名は、変更することができません。

<戻る

アカウント変更

ユーザー名 aaaa

現在のパスワード

新しいパスワード 8~12桁

パスワードの再入力 パスワードの再入力

アカウント変更



参考

- 管理者アカウントのパスワードは、PCの管理者ページでも変更することができます。変更の方法は、70ページ「8.15 管理者ページからアカウント変更」を参照してください。

07. ユーザー管理

顔認証を利用するには、あらかじめユーザーの顔画像、ユーザー番号、ユーザー名などを登録する必要があります。

本項では、端末やPCを使ったユーザー登録や修正などの管理方法を説明します。

【ユーザー登録時のご注意】



- 既に登録されている人物を他のユーザー番号で登録することはできません。また、正確に登録するためにマスク、帽子、サングラス等を外した状態で登録をしてください。マスク、帽子、サングラス等をつけた状態で登録した場合、顔認証率が著しく低下します。

7.1 端末でのユーザー登録

端末でユーザーを登録する方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。



- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、[設定]画面で、[顔登録]を選択します。

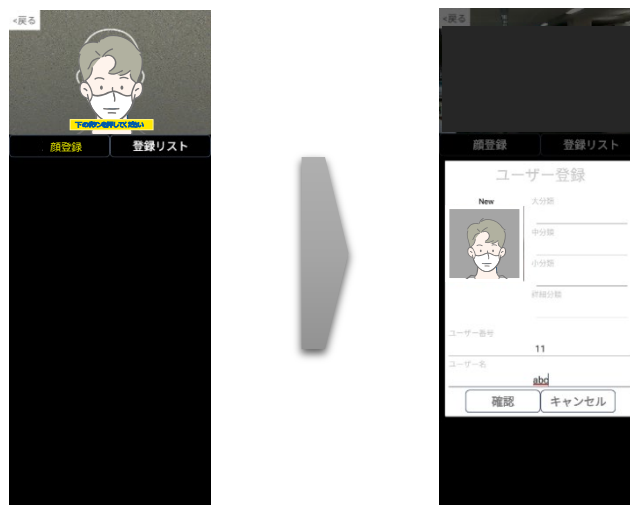


- 3 [顔登録]画面で、画面の白枠に顔を合わせて画面左下の[顔登録]ボタンをタップします。

下のボタンを押してください
とメッセージが出たら、顔認証を
押します

ユーザー番号とユーザー名(この2つは必
須項目です)を入力し、確認ボタンを押
してユーザー登録します。

顔登録の操作画面



- 画面に[下のボタンを押してください]と表示が出たら、登録できます。
- 顔写真が撮影され、[ユーザー登録]画面が表示されます。
※顔写真撮影時はマスクを外してください。
※顔登録時は、付録C 顔登録・顔認証ガイドライン を参照し 正しくご登録を
お願いいたします。

4 登録するユーザーの組織情報(所属部署や役職など)を入力します。

- 組織情報の入力必須ではありません。


5 登録するユーザーのユーザー番号とユーザー名を入力して[確認]をタップします。

- ユーザー番号は、最大10桁の英数字です。

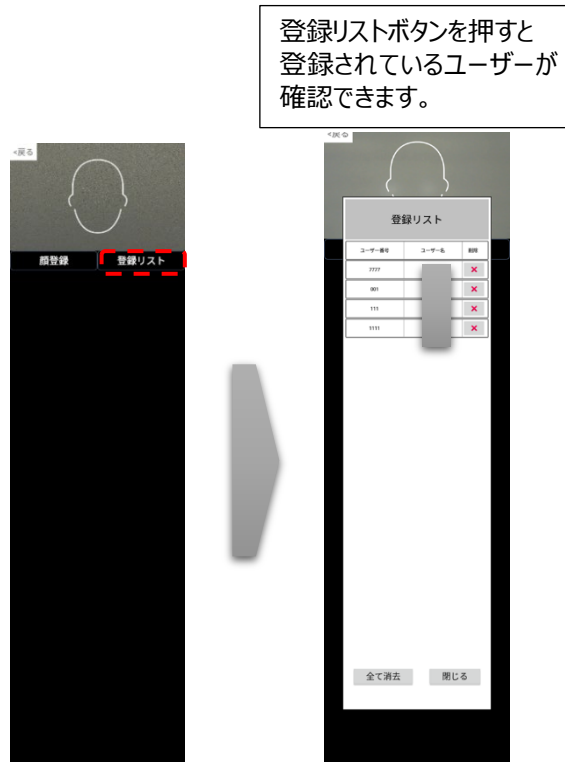
6 [確認]をタップした後に、[顔登録]画面左上の[戻る]をタップします。

7.2 端末でのユーザー修正と削除

端末でユーザー情報を削除または修正する方法は、以下の通りです。

- 1** 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2** 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、[設定]画面で、[顔登録]を選択します。

- 3 [顔登録]画面で、画面右の[登録リスト]ボタンをタップして[登録リスト]を開きます。



- 4 ユーザー情報を修正する場合は、[登録リスト]から修正するユーザーのユーザー名、ユーザー番号のいずれかをタップします。

[ユーザー登録]画面で、必要な情報を修正した後に[確認]ボタンを選択します。

ユーザー名、ユーザー番号のいずれかを押すと、登録画面が表示され、そのユーザーの情報が修正できます。

必要な情報を修正した後に[確認]ボタンを押します。
(ユーザー番号は修正できません)

登録リストの操作画



タップしてユーザー情報の修正

ユーザー登録

New 大分類

中分類

小分類

詳細分類

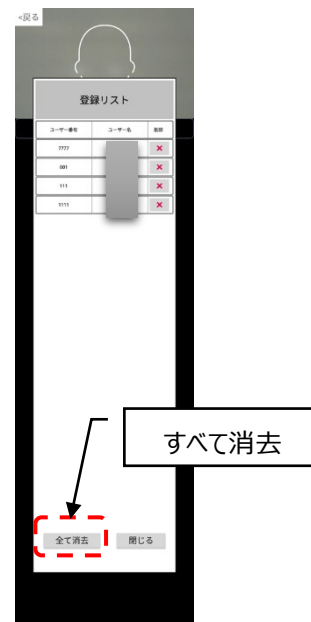
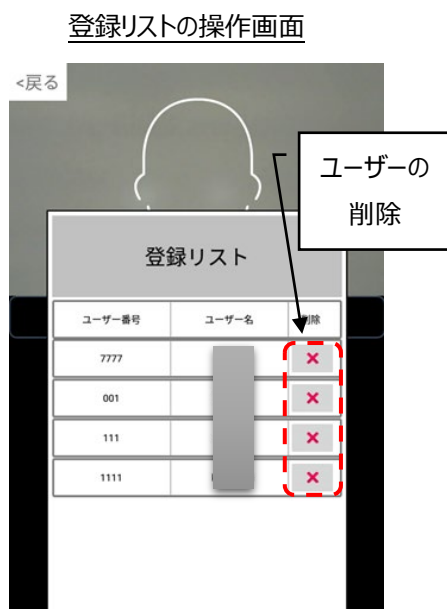
ユーザー番号 11

ユーザー名 abc

確認 キャンセル

- 5 ユーザー情報を削除する場合は、[登録リスト]から削除するユーザーの[削除]ボタンをタップします。また、[全て消去]をタップすると、全てのユーザー情報を一度に削除することができます。

×を押すとユーザーを削除できます。



- 6 [削除]ボタンから個別削除した場合は、[閉じる]ボタンをタップして[登録リスト]を閉じた後、[顔登録]画面左上の[<戻る]をタップして設定画面に戻します。
- 7 [全て消去]ボタンから一括削除した場合は、必ず、画面左上の[戻る]をタップして設定画面に戻します。

7.3 PC/モバイル機器でのユーザー登録

PCやモバイル機器を利用してユーザーを登録する場合は、PC/モバイル機器で端末(AIインタラクティブ本体)の管理者ページに接続する必要があります。管理者ページに接続する方法の詳細については、52ページ「8.3 管理者ページへの接続」を参照してください。尚、Webブラウザに管理者ページが表示されますので、個別の管理用ソフトウェアは必要ありません。



参考

- ウェブブラウザは、クロミウム(Chromium)ベースのウェブブラウザを推奨します。
例：Google Chrome、Microsoft Edge、など

個別登録

- 1 管理者ページで、[ユーザー管理]を選択します。
- 2 画面右側上段の[個別登録]ボタンを選択します。



- 3 各項目に必要な情報を入力します。
 - 写真登録、ユーザー番号、ユーザー名は、必須入力項目です。
 - 写真ファイルを使用して登録した場合、顔認識率に影響を及ぼす可能性があります。出来るだけ、端末で写真撮影を行い、ユーザー登録をすることを推奨します。尚、登録する写真はマスクを外した状態で撮影したものをご使用ください。
 - 写真の大きさと品質は、顔認証結果に影響を及ぼすことがあります。推奨する写真の大きさは、証明写真(300 x 400 ピクセル)程度の大きさです。6ヶ月以内に撮影した写真での登録を推奨します。
 - 登録する写真のファイル形式は、jpg , pngに対応しています。それ以外のファイル形式のデータは、jpgまたは、pngのファイル形式に変換し、登録を実施してください。
 - 画像編集ソフトなどで、特殊効果を過度に加えた写真を登録した場合、顔認証が正常に行われません場合があります。

- ユーザー番号は最大10桁です。英数字のみ使用可能です。
- 登録済のユーザー番号は、再登録することができません。

4 右下の[登録]ボタンを押して、ユーザーを登録します。

一括登録

定型のExcelファイルを利用して、ユーザーを一括で登録することができます。

ユーザーを一括登録する方法は、以下の通りです。

- 1 管理者ページで、[ユーザー管理]を選択します。
- 2 画面右側上段の[一括登録]ボタンを選択します。

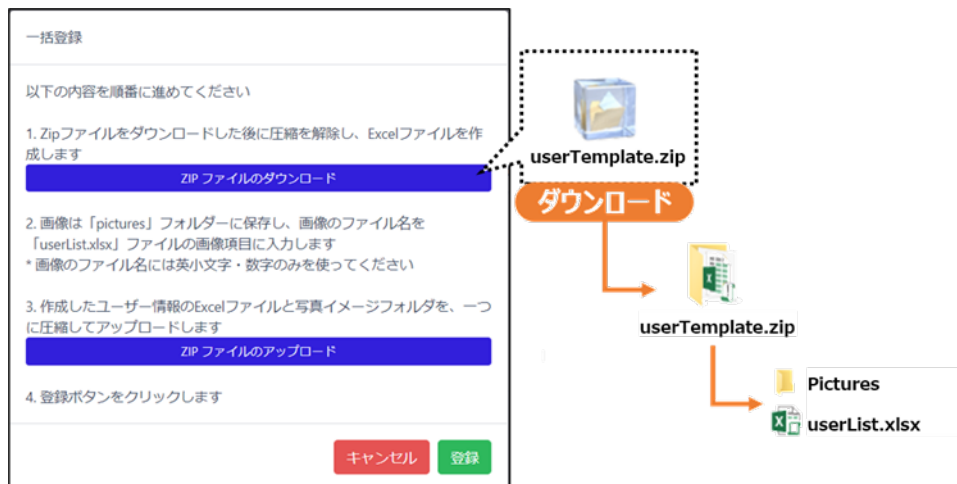


3 [ZIPファイルのダウンロード]をクリックし、ファイルをPCの任意の場所に保存します。

- “userTemplate.zip” ファイルがダウンロードされます。

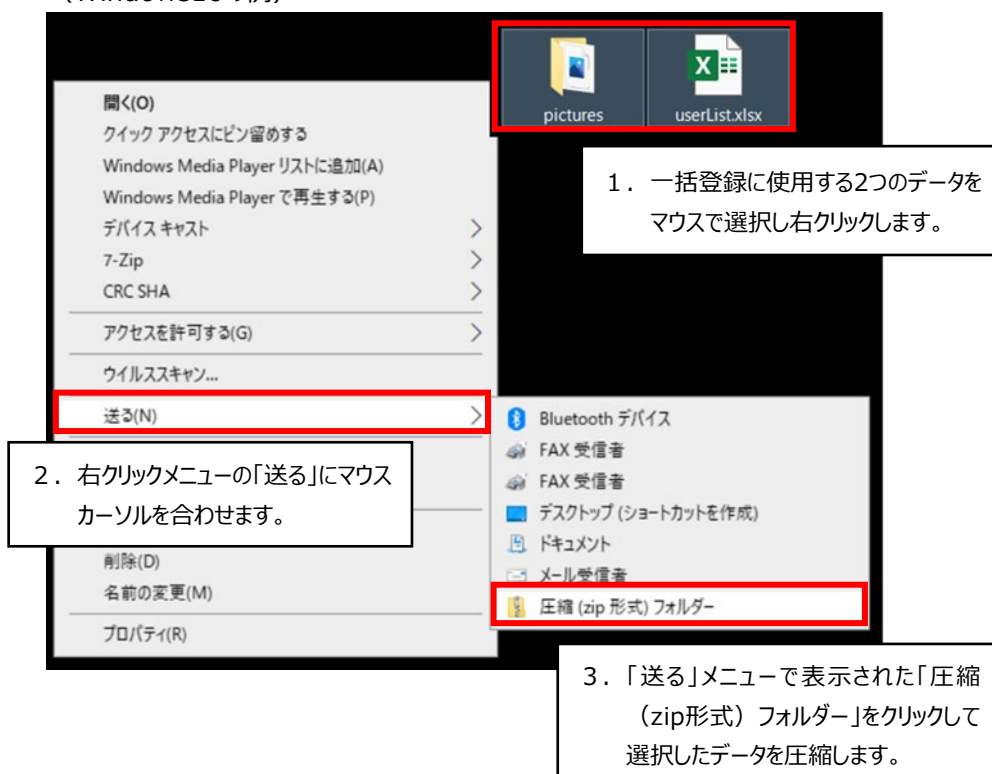
4 保存したzipファイルの圧縮を解除(すべて展開)します。

- “userList.xlsx” ファイル と “pictures” フォルダー が展開されます。

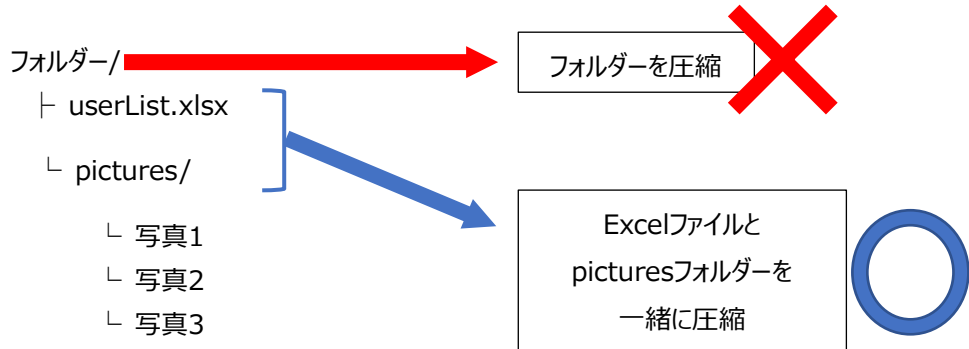


- 5 xlsxファイルのフォーマットに従って、ユーザー情報を入力します。
- ユーザー番号、ユーザー名、写真は必須の入力項目です。
 - 写真欄には、登録するユーザーの顔写真ファイル名を入力します。
画像のファイル名には、英小文字と数字のみが使用可能です。
- 6 ユーザー情報を入力後、“userList.xlsx” ファイルを上書き保存します。
- 7 “pictures” フォルダーに、xlsxに記入した顔写真ファイルを保存します。
- 写真の大きさと品質は、顔認証結果に影響を及ぼすことがあります。推奨する 写真の大きさは、証明写真(300 x 400 ピクセル)程度の大きさです。
6ヶ月以内に撮影した写真での登録を推奨します。
 - 登録する写真のファイル形式は、jpg , pngに対応しています。それ以外のファイル形式のデータは、jpgまたは、pngのファイル形式に変換した後、登録を実施してください。
 - 画像編集ソフトなどで、特殊効果を過度に加えた写真を登録した場合、顔認証が正常に行われない場合があります。
- 8 “userList.xlsx” ファイルと “pictures” フォルダーをマウスで選択し、右クリックから直接 Zip 形式で 1 つのファイルへ圧縮します。
 (“userList.xlsx” ファイル名と “pictures” フォルダ名は変更しないようにしてください)
なお圧縮ファイル名に指定はありませんので、圧縮時に作成されたデータのまま一括登録いただけます。

(Windows10の例)



下記のように1つのフォルダーに“userList.xlsx” ファイルと “pictures” フォルダをまとめてからフォルダを圧縮しても正常に一括登録することはできません。



- 9 [一括登録]の画面から[ZIPファイルのアップロード]をクリックして、8で圧縮したzipファイルをアップロードします。

一括登録

以下の内容を順番に進めてください

1. Zipファイルをダウンロードした後に圧縮を解除し、Excelファイルを作成します
[ZIP ファイルのダウンロード](#)
2. 画像は「pictures」フォルダーに保存し、画像のファイル名を「userList.xlsx」ファイルの画像項目に入力します
* 画像のファイル名には英小文字・数字のみを使ってください
3. 作成したユーザー情報のExcelファイルと写真イメージフォルダを、一つに圧縮してアップロードします
[ZIP ファイルのアップロード](#)
4. 登録ボタンをクリックします

[キャンセル](#) [登録](#)

10 アップロードするファイルを確認して[登録]をクリックします。

一括登録

以下の内容を順番に進めてください

1. Zipファイルをダウンロードした後に圧縮を解除し、Excelファイルを作成します

ZIP ファイルのダウンロード

2. 画像は「pictures」フォルダーに保存し、画像のファイル名を「userList.xlsx」ファイルの画像項目に入力します
* 画像のファイル名には英小文字・数字のみを使ってください

3. 作成したユーザー情報のExcelファイルと写真イメージフォルダを、一つに圧縮してアップロードします

ZIP ファイルのアップロード

4. 登録ボタンをクリックします

ファイル: pictures.zip

キャンセル 登録

一括登録

ユーザーの一括登録中 (0 / 0) 完了

- zipファイルのアップロード完了後、登録結果をダウンロードすることができます。ダウンロードしたcsvファイルを開いて、登録結果を確認してください。

一括登録

ユーザーの一括登録中 (4 / 4) 完了

登録結果ファイルダウンロード 閉じる

<登録結果ファイルの例> ファイル名 : registerUserResult_日時.csv

番号	ユーザー番号	名前	結果
1	10001	山田太郎	成功
2	10002	山田花子	成功
3	10003	斉藤太郎	成功
4	10004	斉藤花子	成功



参考

- 一括登録、登録結果、アクセス履歴の各データを取り扱うためには、拡張子「csv」「xlsx」が利用できるアプリケーションが必要です。
- PCのメモリ容量などの環境により、一括登録用のファイルサイズが大きくなると、読み込むことができなくなったり動作が遅くなったりする場合があります。最大登録人数1000人を目標とした登録を推奨します。
- 登録結果ファイルの結果の欄に、「失敗」と表示されていた場合、失敗理由は「登録済みユーザー」であることが考えられます。予め登録済みのユーザーがいる場合、AIによる画像解析で登録済み画像と追加でアップロードした画像を比較して登録済みか否かを判断していますので、登録するユーザーは重複しないように注意してください。また、同じユーザー番号であった場合も登録失敗となりますので、ユーザー番号が重複しないようにしてください。

7.4 PC/モバイル機器でのユーザー修正と削除

PC/モバイル機器でユーザー情報を削除または修正する方法は、以下の通りです。

- 1 管理者ページで、[ユーザー管理]を選択します。
- 2 ユーザー情報を修正する場合は、修正するユーザーの[修正]ボタンを選択します。
[ユーザー管理]画面で、必要な情報を修正した後に[保存]ボタンで保存します。

1 ユーザー管理

ユーザー番号	ユーザー名	表示	修正	削除
7777		表示	修正	削除
1111		表示	修正	削除
111		表示	修正	削除
001		表示	修正	削除

修正ボタンを押す



3 ユーザー情報を削除する場合は、修正するユーザーの[削除]ボタンを選択します。





08. 端末管理

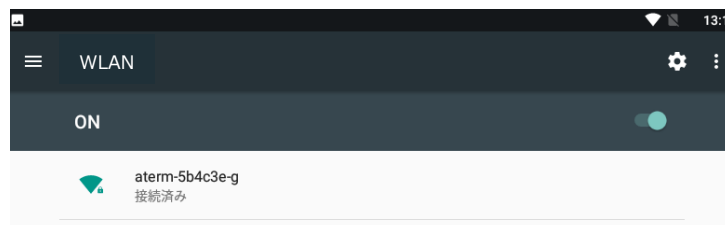
本端末にPCやモバイル機器等を接続して、端末の設定や入退管理などを行うことができます。

本端末と、端末を管理するPCまたはモバイル機器は、同一のローカルネットワークに接続する必要があります。外部または異なるセグメントから端末へアクセスして管理することはできません。

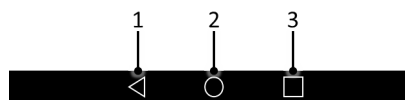
8.1 ネットワーク接続

端末をWi-Fiを利用してネットワークに接続する方法は、以下の通りです。

- 1 HL365.FISアプリ  を立上げて待機画面の設定ボタン  を押し、管理者アカウントのユーザー名/パスワードを入力して設定画面を開きます。
- 2 [端末設定]をタップします。
- 3 ネットワークの[変更]をタップします。
- 4 Wi-Fiを選択します。
- 5 接続する無線ネットワーク(SSID)を選択します。



- 6 パスワードを入力した後、接続ボタンをタップします。
- 7 画面下にあるナビゲーションバーの、戻るボタン(下図の1)でネットワーク設定へ戻ってください。



- 8 画面左上の[<戻る]を押して設定内容を保存してください。



参考

- ネットワークが接続された後、[端末設定]で熱検知アプリ[HL365.FIS]のバージョンが最新であることを確認して下さい。お使いのHL365.FISが最新でない場合、端末をインターネットに接続すると、画面右上の⚙️マークに🔴Nマークが表示されます。🔴Nマークが表示されたら、72ページ「8.17 ソフトウェアのアップデート」を参照してHL365.FISを最新にアップデートして下さい。
- ネットワークの速度が遅い場合、アップデートボタンが表示されるまでに時間がかかることがあります。 ※この場合は、有線LANの使用を推奨します。
- 端末及びPCまたはモバイル機器を同じWi-Fiルーター(ポケットWi-Fiなど)に接続して、PCまたはモバイル機器から 端末の管理ページにアクセスするには、ルーター側で以下の設定が必要です。
 - DHCPサーバー機能：有効
 - プライバシーセパレータ：無効
 - Wi-Fi暗号化強化(PMF)：無効

8.2 端末のIPアドレスの確認

端末を遠隔で管理するためには、端末のIPアドレスの確認が必要です。

端末が接続しているローカルネットワークのIPアドレスを確認する方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の ⚙️ 設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[WEBアクセス]を選択します。



- 4 画面に表示されている、IPアドレスを確認します。この例では、<https://192.168.0.5:8080>となりますが、ネットワークへの接続環境によって変わりますので、注意してください。

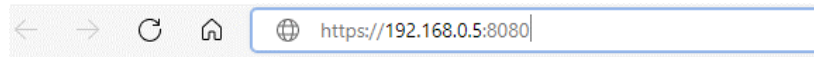


8.3 管理者ページへの接続

PC/モバイル機器から管理者ページに接続する方法は、以下の通りです。

- 1 ウェブブラウザを開いて、アドレスウィンドウに、端末に割り当てられたIPアドレスとポート番号(8080)を入力した後、Enterキーを押します。

例：192.168.0.5:8080の場合は、<https://192.168.0.5:8080>と入力。



- アドレス情報は、端末の[設定] > [端末設定] > [ウェブアクセス]にも表示しています。

- 2 ログインページで端末の管理者アカウントのユーザー名、パスワードを入力し、[ログイン]を選択します。

ログイン
アカウントにログイン

ユーザー名

パスワード

ログイン

8.4 管理者ページの使用方法

管理者ページに接続すると、下図のようなホーム画面が表示され、以下9種類のメニューを利用することができます。

8.10の勤怠履歴と勤怠管理は、本体の勤怠管理システム設定をONにした時だけ、メニューに表示されます。

勤怠管理システムがONになっているのに、8.10が表示されていない場合は、[アカウント]から一度[ログアウト]し、再度[ログイン]し直すと、勤怠履歴と勤怠管理がメニューに表示されます。

メニュー

登録ユーザー数

本日の熱検知状況

アカウント

ホーム

ユーザー管理

デバイス設定

アクセス履歴

アクセス管理

勤怠履歴

勤怠管理

端末管理

コンテンツ管理

メディアファイル登録

プリセット作成

プリセット適用

ユーザー情報

1名

本日の熱検知状況

全体の熱検知状況

全体 0名

正常 0名

熱検知通知 0名

熱検知通知

Excel保存 写真を含む

日時	端末名	ユーザー番号	ユーザー名	熱チェック	マスク	QR	表示
アイテムがありません							

リアルタイムアクセス履歴 全てのアクセス履歴をリアルタイムで記録・表示

日時	端末名	ユーザー番号	ユーザー名	熱チェック	マスク	QR	表示
アイテムがありません							



参考

- ユーザーの一括登録、登録結果のダウンロード、熱チェックやアクセス履歴などの各データを取り扱うためには、拡張子「csv」「xlsx」が利用できるアプリケーションが必要です。

8.5 ホーム画面

現在の端末状況、及びリアルタイムアクセス履歴などが確認できます。

- ユーザー情報：端末に登録されているユーザー数を表示します。
- 本日の熱検知状況：本日のアクセス履歴者数、正常者数、熱検知者数を表示します。
- 熱検知通知：設定した温度以上の熱が検出されたアクセスに関する履歴をリアルタイム表示します。顔写真の保存を有効にしている場合(※)、[表示]をクリックするとユーザー登録の有無に関わらず顔写真の確認もできます。[Excel保存]により、履歴をダウンロード可能です。
- リアルタイムアクセス履歴：リアルタイムでアクセス履歴を表示します。顔写真の保存を有効にしている場合、[表示]をクリックするとユーザー登録の有無に関わらず顔写真の確認もできます。[詳細]ボタンをクリックすると、アクセス履歴ページへ移動します。

※ 34ページ「6.2 端末設定」に記載の[写真の保存]を[保存する]に設定します。

<熱検知通知・リアルタイムアクセス履歴で[表示]をクリックして顔写真表示した例>



8.6 ユーザー管理

ユーザーの登録と管理を行います。ユーザー登録の詳細については、38ページ「07 ユーザー管理」を参照してください。

8.7 デバイス設定

端末設定の一部をPC/モバイル機器から行うことができます。デバイス設定の方法は、以下の通りです。



- 管理者ページで、[デバイス設定]を選択します。
- 必要な設定を行います。
 - 音量：端末の音声案内出力のボリュームをスライドバーで設定します。
 - 保管期間：アクセス履歴を保管する期間を設定することができます。
 - 写真の保存：アクセス時に撮影されたユーザーの顔写真を保存する/しない、を設定することができます。
 - ソフトウェアのアップデート：端末のソフトウェアアップデート用ファイル(apkファイル)をPC/モバイル機器から転送します。ソフトウェアアップデート方法の詳細は、72ページ「8.17 ソフトウェアのアップデート」を参照してください。
- 左上の[保存]ボタンで保存した後に、[戻る]を選択します。

8.8 アクセス履歴の確認

訪問者の、訪問日時や熱/マスク検知結果などのアクセス履歴を確認することができます。アクセス履歴の確認は、管理者ページから[アクセス履歴]を選択してください。また[ホーム]画面上でも、簡単なリアルタイムアクセス履歴の確認が可能で、[詳細]をクリックすると[アクセス履歴]ページへ移動できます。

アクセス履歴の保存

アクセス履歴を保存する方法は、以下の通りです。

- 管理者ページで、[アクセス履歴]を選択します。
- 必要に応じて、画面上段のフィルター機能を利用して保存対象の期間を設定します。
- 画面右側上段の[Excel保存]ボタンをクリックします。

選別されたアクセス履歴に関する情報が、Excelファイル（.xlsx）でPCの任意の場所へ保存できます。

- デフォルトのデータ名は【Measurement_保存日時】です。
（例） Measurement_20211010_120000.xlsx
- 顔認証時に顔写真を保存している場合は写真付きデータの取得可です。Excel保存時に[写真を含む]にチェックを入れてください。

Web管理画面から保存できる項目は以下の通りです。

項目名	説明	表示例
[ID]	アクセス履歴の通し番号	初期値 1,2,3...
端末名	端末名	Main
[ユーザー番号]	ユーザー番号	1234567ABC(最大10桁)
[ユーザー名]	ユーザー名	山田太郎
[熱チェック]	温度測定結果を記録	36.5 (0:熱検知OFF)
[マスク]	顔認証時のマスク着用有無を記録	0:未着用, 1:着用, 2:マスク検知 Off
[QR]	QRコード読取結果	[QR内容]
[顔]	アクセス時の顔認識画像を表示	※Excel保存時に[写真を含む]にチェック
[日時]	顔認証で端末にアクセスした日時	2021-11-18 13:34:32

8.9 アクセス管理

ユーザー毎のアクセス状態を把握できます。

ユーザー番号	ユーザー名	大分類	中分類	小分類	詳細分類	初回アクセス日時	最終アクセス日時	アクセス回数
1234						2022-08-01 09:19:13	2022-08-01 09:24:59	5
55555						-	-	0

アクセス管理(フィルター機能)

- ユーザー名：ユーザー名の指定または、登録ユーザーの選定が出来ます。
- アクセス状況：全体、アクセス、未アクセスが選定できます。
- 日時：日時を指定して、検索期間を設定できます。

ユーザー毎のアクセス履歴

アクセス履歴がユーザー毎にまとめられて表示されます。

8.10 勤怠履歴の確認

勤怠管理システムを使ってアクセスした履歴をExcel形式で保存することが出来ます。

履歴は、下記項目で検索して整理することが出来ます。

- ユーザー名：ユーザーを指定して検索します。
- 勤怠種別：全体、出勤、退勤、外出、戻り、から選択して検索できます。
- 熱の有無：全体と熱検知(熱有)で検索できます。
- マスク着用状況：全体と着用、未着用で検索できます。
- アクセス日時(期間)：日時を期間で設定し、その間の勤怠履歴を検索します。



勤怠履歴の保存

勤怠履歴を保存する方法は、以下の通りです。

- 1 管理者ページで、[勤怠履歴]を選択します。
- 2 必要に応じて、画面上段のフィルター機能を利用して保存対象の履歴を選別し、熱チェックの単位を設定します。
- 3 画面右側上段の[Excel保存]ボタンをクリックします。

選別されたアクセス履歴に関する情報が、エクセルファイル（.xlsx）でPCの任意の場所へ保存できます。

- デフォルトのデータ名は【Attendance_保存日時】です。
（例）Attendance_20211010_120000.xlsx

Web管理画面から保存できる項目は以下の通りです。

項目名	説明	表示例
[ID]	アクセス履歴の通し番号	初期値 1,2,3...
端末名	端末名	Main
[ユーザー番号]	ユーザー番号	1234567ABC(最大10桁)
[ユーザー名]	ユーザー名	山田太郎
[熱チェック]	温度測定結果を記録	36.5 (0:熱検知OFF)
[マスク]	顔認証時のマスク着用有無を記録	0:未着用, 1:着用, 2:マスク検知 Off
[勤怠]	勤怠ボタンを押した結果を記録	出勤、退勤、外出、戻り
※[勤怠データ送信]	連携する勤怠システムにデータを送付および処理の結果	済、未
[日時]	顔認証で端末にアクセスした日時	2021-11-18 13:34:32

※勤怠管理システムと連携した場合に使用します。通常はサポート対象外です。

8.11 勤怠管理

勤怠情報を一括して管理できます。

勤怠管理は、下記項目で検索して、主にユーザー毎に勤怠状況を整理することができます。

- ユーザー名：ユーザーを指定して検索します。
- 入力状況：全体、あり、なし、から勤怠情報の入力状況を選択して検索できます。
- 日時(期間)：日時を期間で設定し、その間の勤怠履歴を検索します。

最終入力情報は、入力された勤怠情報を集計して、出勤、退勤、外出、戻りの人数を表示します。

なお、社内に残っている人数は、出勤+戻りの合計となります。

勤怠管理

ユーザー 入力状況 全体

日時 2022-09-27 00:00:00 ~ 2022-09-27 23:59:59 検索

最終入力情報

出勤	退勤	外出	戻り
0名	0名	0名	0名

リフレッシュ

ユーザー番号	ユーザー名	大分類	中分類	小分類	詳細分類	出勤入力日時	最終入力日時	最終入力情報	入力回数
78						-	-	-	0
001						-	-	-	0

8.12 端末管理

端末にアクセスできるユーザーを設定できます。なお、端末にアクセスできるユーザーとは、対象の端末に顔登録され、顔認証により本人認証が可能なユーザーのことをいいます。




[アクセス可能ユーザー]ボタンを押すと下記画面に遷移し、端末にアクセスできるユーザーを設定することが出来ます。具体的な操作は、次項を参照してください。



8.13 端末の追加登録とアクセス管理

複数台の端末(サブ端末)を1台の端末(メイン端末)に登録して、連動・管理することができます。

端末を追加で登録する方法は、以下の通りです。

- 1 **サブ端末**の[設定]  を押し、管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

2 [設定]画面で、[端末設定]>[初期化]を選択します。

※初期化を行うと、すべての登録/履歴データが消去されます。

必要なデータは、あらかじめバックアップを取ることを強くお勧めします。

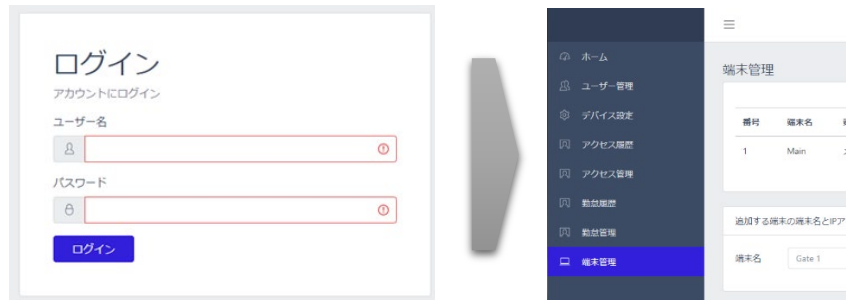
The screenshot shows the '端末設定' (Terminal Settings) screen. At the top, there is a '<戻る' (Back) button and the title '端末設定'. Below this, there are several sections: '端末名' (Main), 'ネットワーク' (192.168.0.5), 'ウェブアクセス' (https://192.168.0.5:8080/), '連動' (メイン端末), '待機画面(全画面)', '音声案内' (with a volume slider and a '近づいて...' option), '音声' (男性/女性), '音量' (slider), 'LED明るさ' (slider), '結果の表示時間(1~10s)' (3), 'アクセス履歴' (保管期間: 1週間, 写真の保存: off), 'バックアップと復元' (バックアップ, 復元), '初期化' (highlighted with a red dashed box), 'システムレポート(毎日)' (レポート, 時間設定), and 'ソフトウェア情報' (2.0.1, アップデート).

3 初期化を押した後、アカウント設定画面で何も入力せずに待機します。

The screenshot shows the 'アカウント設定' (Account Settings) screen. It has a title 'アカウント設定' and three input fields: 'ユーザー名' (4~12桁), 'パスワード' (8~12桁), and 'パスワードの再入力' (パスワードの再入力). Below these is a button labeled 'アカウント設定'. At the bottom, it shows 'IPアドレス: 192.168.0.5' and a refresh icon.

サブ端末本体はこの画面のまま待機します

- 4 次に**メインとなる端末**の管理者ページにPC等でログインし、画面左側の[端末管理]を選択します。



- 5 画面下段に、接続するサブ端末の[端末名]、[IPアドレス]を入力します。



- 端末名：端末名を指定します。
- IPアドレス：登録するサブ端末のIPアドレスを入力します。

- 6 [登録]ボタンをクリックして、「アクセス可能なユーザー」を設定します。



登録ボタンを押すと、追加したサブ端末にメイン端末のユーザーデータが転送され、サブ端末の「アクセス可能なユーザー」設定画面に切替ります。

初期設定は全員[ユーザーアクセス 不可]となっており、入退を許可されていない状態ですので、必要に応じて当該出入口を入退できるユーザーを、「アクセス可能なユーザー」へ設定してください。

尚、すべてのユーザーを一括で登録/削除する方法と個別に設定する方法があります。個別設定する場合は、ユーザー名をクリックして矢印ボタンで登録を変更することが出来ます。

ユーザー設定をおこなったら、左上の保存ボタンを押して設定を保存してください。

7 端末管理画面でサブ端末が登録されていることを確認します。



8 サブ端末に設定されると、ユーザー管理、アクセス管理、勤怠管理の機能は全てメイン端末に集約されますので、WebUI画面は下図のようにメニューが簡略化されます。



- 「接続解除」ボタンを押すと、サブ端末の接続が解除され、下記のデータが、サブ端末に保存されます。

- 登録ユーザーとアクセス権限の設定
- サブ端末のみのアクセス履歴

- 表示コンテンツを準備します。管理者ページに接続するPCに、表示する静止画、または動画ファイルを1つ以上用意します。使用できるファイルの条件は以下のとおりです。

	ファイル形式	1 ファイルのサイズ (最大)	画像サイズ(pixel)
image 静止画	jpg、png	10MB	H540 x V1586
video 動画	mp4(H.264,H.265) / webm(VP8)	150MB	

- PCから端末の管理者ページに接続します。接続方法の詳細は、52ページ「8.3 管理者ページへの接続」を参照してください。
- 表示ファイルの選択と転送を行います。WEBアプリの[コンテンツ管理]メニュー下の[メディアファイル登録]を選択し、転送するファイルの形式に合わせて、フォルダー 2 つのうち image (静止画) または video (動画) のどちらかを選択します。



- [ファイル選択] をクリックし、用意したファイルを選択、“開く” をクリックするとファイルが端末に転送されます。

“ファイル選択”をクリック

videoの場合の表示

- 対応フォーマット: MP4(H.264,H.265), WEBM(VP8)
- ファイルあたりの最大容量: 150MB
- 最適なビデオのサイズは、540 (幅) *1586 (縦) ピクセルです

ファイルを選択し
“開く”をクリック

ファイルが端末に転送され、
フォルダー内にファイル名が表記されます

- 転送されたファイルを使ってプリセットを作成します。
プリセットとは、画像や動画を端末に表示させるために作成するフォルダーのようなものです。画像は複数枚を組合わせてプリセットにすることで、スライドショーのような表示が出来ます。動画も複数のファイルをプリセットに登録することで、連続して再生することが可能に

なります。また、ファイルが1つしかない場合も、端末に表示させるためにはプリセットが必要になりますので、この操作は必ず行うようにしてください。

WEBアプリの [コンテンツ管理]メニュー下の[プリセット作成]を選択し、[セットの作成]をクリックします。



「名前（プリセットの名称）」と「ページあたりの切り替え時間（秒）」を入力し、「メディアファイルのタイプ（コンテンツの種類）」を選択します。作成するプリセットに組み入れるコンテンツファイルを[選択されていないメディアファイル]から、[選択されたメディアファイル]へ、ドラッグ&ドロップします。



追加 "をクリックしプレイリストの作成は完成です。"プリセット作成"をクリックして結果を確認してください。



- WEBアプリの[コンテンツ管理]メニュー下の[プリセット選択]を選択し、実行するプリセットを選択します。[保存]をクリックすると、指定されたプリセットが表示されます。端末のディスプレイ表示を確認してください。



モバイルCMSアプリ HL365 のテンプレート管理機能を使って端末に転送されたコンテンツは、モバイルCMSアプリ上でテンプレートを削除しても、端末内にデータが残っており、ストレージ容量を消費する場合があります。これらの端末内に残っているコンテンツは、Web画面から削除することができます。Webブラウザを使えば、PCやモバイル機器など、様々な機器から操作ができます。

なお、削除できるのは、端末に転送された画像ファイルや動画ファイルなどですが、テンプレート保存で作成した名前は表示されませんので、削除時にご注意ください。

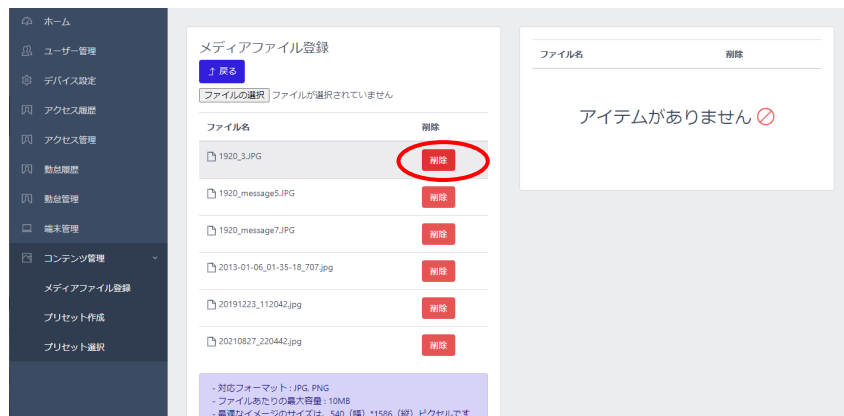
- メディアファイル登録を選択します。



- 削除したいファイルタイプを選択します。



- 削除するファイルの削除ボタンを押します



- 削除ボタンでファイル削除を実行します。



※Imageまたはvideoファイルを削除しても、しばらくの間表示される場合がありますが、電源offや、ログイン画面への遷移等を行いますと、削除したコンテンツは表示されなくなります。

8.15 管理者ページからアカウント変更

管理者ページで、管理者アカウントのパスワードを変更することができます。
変更方法は、以下の通りです。

- 1 管理者ページで、画面右上の[アカウント] > [プロフィール]を選択します。



2 [現在のパスワード]、[新しいパスワード]、[パスワードの再入力]を入力します。

- パスワードは、8～12桁の英数字記号の組合せで設定してください。
- ユーザー名は、変更することができません。



The screenshot shows a web interface for account management. On the left is a dark sidebar menu with options: ホーム, ユーザー管理, デバイス設定, アクセス履歴, アクセス管理, 勤怠履歴, 勤怠管理, 権限管理, コンテンツ管理, メディアファイル登録, プリセット作成, and プリセット選択. The main content area is titled 'アカウント' and contains a form for password change. The form has four input fields: 'ユーザー名' (User Name) with the value '0000', '現在のパスワード' (Current Password), '新しいパスワード (文字、数字、記号を組み合わせて/パスワードを作成します)' (New Password (Combine letters, numbers, and symbols to create a password)), and 'パスワードの再入力' (Re-enter Password). Both password fields have a requirement of '8～12文字で入力してください' (Enter 8-12 characters). At the bottom of the form are two buttons: '保存' (Save) and '戻る' (Back). A copyright notice 'COPYRIGHT 2022 HITACHI-LG DATA STORAGE. ALL RIGHTS RESERVED.' is visible at the bottom right of the page.

3 [保存]をクリックした後に、[戻る]を選択します。

8.16 管理者ページからのログアウト

管理者ページからログアウトする方法は、以下の通りです。

- 1 管理者ページで、画面右上の[アカウント] > [ログアウト]を選択します。



- 2 ログイン画面に遷移します。



8.17 ソフトウェアのアップデート



端末のソフトウェアアップデートの方法は、(1)オンラインアップデート、(2)PCの管理者ページからapkファイルを転送した後に端末で操作する方法、(3)FileManagerでUSBメモリー内のapkファイルから直接アップデートする方法、の3通りがあります。なお、(2)(3)の場合は、別途ご提供するアップデート用apkファイルが必要です。

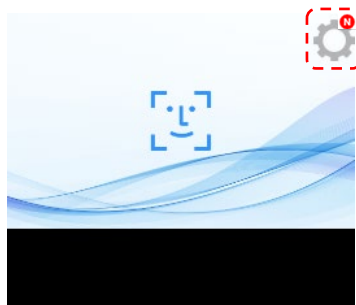
※ソフトウェアのアップデート中は、ACアダプターを抜かないように注意してください。


オンラインアップデート


- 1 Wi-FiまたはEthernetを利用して、端末をInternetに接続します。


ネットワーク接続に関する詳細については、50ページ「8.1 ネットワーク接続」を参照してください。

- 2 待機画面右側上段の  設定アイコンに  のマークが表示されていたらオンラインアップデートできます。



 アップデート可能なソフトウェアがあります。

 アップデート可能なソフトウェアはありません。

- 3 端末本体の待機画面右側上段の  設定アイコンをタップし、管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。


- 4 [設定]画面で、[端末設定]を選択し、[アップデート]ボタンをタップします。



- 5 アップデート完了後、ソフトウェアは自動で再起動します。

PCの管理者ページを使用する場合

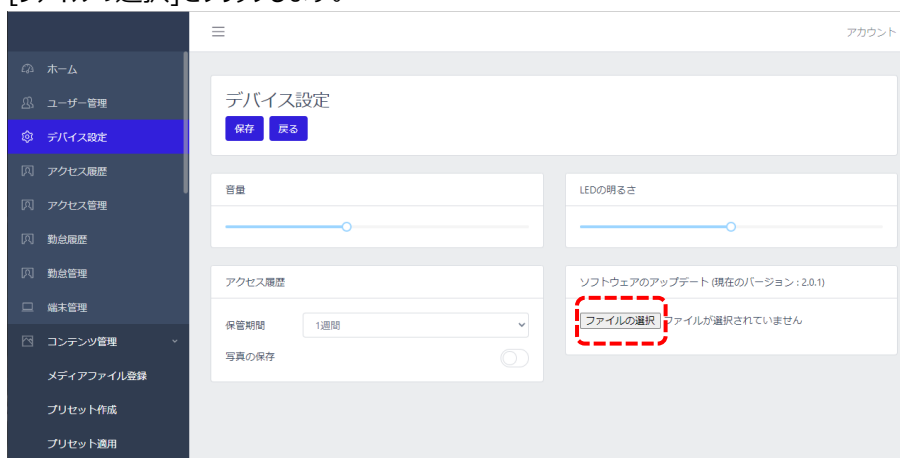
PCの管理者ページからapkファイルを転送した後に端末で操作する方法は、以下の通りです。


- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末設定]を選択します。

- 4 メニューの中のソフトウェア情報にソフトウェアのバージョンが記載されていますので、これを確認してください。アップデートするソフトウェアはこれよりバージョンが新しいものである必要があります。



- 5 PC等の管理者ページで、[デバイス設定]を選択し、画面右側のソフトウェアアップデートにある、[ファイルの選択]をクリックします。



- 6 PC内のapkファイルを選択して[開く]をクリックすると、端末への転送が始まります。
- 7 転送が100%完了後、デバイス設定の[保存]をクリックします。
- 8 ここからは端末本体の操作となります。
端末の待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 9 管理者のユーザー番号とパスワードを入力します。
- 10 [設定]画面で、[端末設定]を選択します。


- 11** [アップデート]ボタンをタップします。

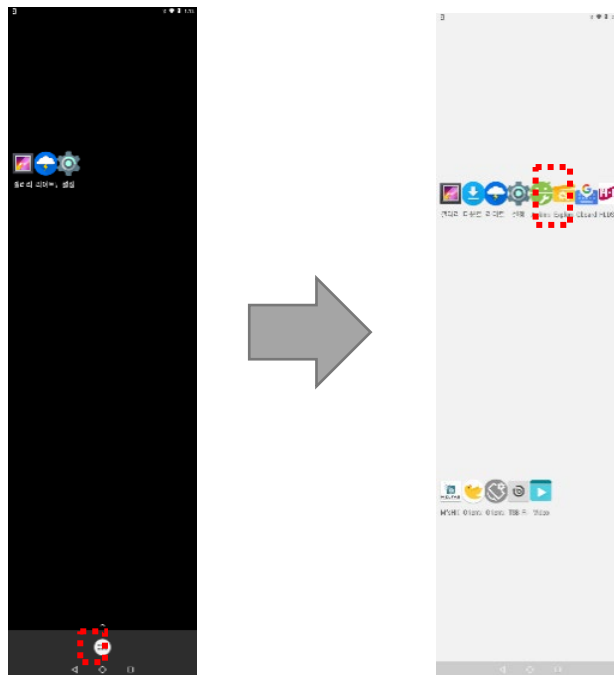


- 12** アップデート完了後、ソフトウェアは自動で再起動します。

USBメモリーを使用する場合

FileManagerでUSBメモリー内のapkファイルから直接アップデートする方法は、以下の通りです。


- 1** apkファイルを入れたUSBメモリーを、端末本体裏側のUSBポートに挿します。
- 2** ナビゲーションバーの[<]を2回タップして、HL365.FISアプリを一旦終了します。
- 3** ナビゲーションバー上部の  をタップして、Explorerメニューを選択します。



- 4** 画面の[USB]を選択して、USB内のapkファイルをタップします。
- 5** アップデート完了後、ソフトウェアは自動で再起動します。

8.18 バックアップおよび復元

「HL365.FIS」のアプリ上で行った端末設定、登録済みのユーザー情報、およびアクセス履歴をバックアップ、または復元することができます。バックアップまたは復元する方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末設定]を選択します。
- 4 [バックアップ]ボタン、または[復元]ボタンをタップします。
 - バックアップ/復元用データは、「backup.zip」という名前の圧縮ファイルです。
 - バックアップ用データは、端末のメモリー(Downloadフォルダー)に保存されます。
- 5 [確認]ボタンをタップします。




参考

- バックアップ時、以前のバックアップが存在する場合、ファイルを消去(上書き)してバックアップしてもよいか確認画面が表示されます。バックアップをしない場合は[キャンセル]、バックアップする場合は[確認]をタップします。
- USBメモリー使用時は、データの万一の消失に備えて、メモリー内のデータを他のストレージデバイスにコピーした後に実行することを推奨します。
- バックアップデータの中で、ユーザー登録情報については、バックアップを復元した後、60ページ「8.12 端末管理」の手順に従い、ユーザー全員をアクセス可能なユーザーに追加する必要がありますので、ご注意ください。

8.19 初期化

「HL365.FIS」で行った設定・保存した内容を初期化することができます。HL365の設定等を初期化する方法は、以下の通りです。

- 1 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 [設定]画面で、[端末設定]を選択します。
- 4 [初期化]ボタンをタップします。




参考

- 端末設定が初期化されると、登録済みのユーザー情報とアクセス履歴が全て削除されるため、注意してください。
- Android™ OSを初期化することを許可していません。万が一初期化した場合は、有償で本体の初期設定を行わなければなりません。十分注意をしてください。

8.20 システムリブート(再起動)

本端末は定期的に自動でリブート(再起動)することができます。定期リブートの方法は、以下の通りです。

- 1** 待機画面右側上段の  設定アイコンをタップします。
- 2** 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
- 3** [設定]画面で、[端末設定]を選択します。
- 4** [システムリブート]の[リブート]ボタンをオンにします。
- 5** [時間設定]ボタンを押し、定期リブートしたい時間を設定します。
 - [現在の設定値]に、現在の設定時間が表示されています。変更する場合は、時間入力部を上下にスクロールして時間を合わせます。
- 6** [時間設定] > [確認]をタップします。

2. 製品保証書記載の保証期間内でも次の場合は原則として保証の対象外となります。
 - (イ) 正常な使用状態で本製品が取り扱われていない場合（お客様において、本製品の分解、修理、又は改造を行った場合を含みますが、これに限られません。）
 - (ロ) 製品ラベルを変更した場合、及びこれを剥がしたり傷つけたりした場合
 - (ハ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下などにより故障及び損傷した場合
 - (ニ) 屋外で使用した場合
 - (ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などにより故障及び損傷した場合
 - (ヘ) 本製品を指定外の機器と接続し故障及び損傷した場合
 - (ト) 製品保証書のご提示がない場合
 - (チ) 製品保証書に製造番号、お買い上げ日、お客様お名前、販売店名の記入のない場合、又はご購入日が証明できる証憑の添付がない場合
3. 修理又は交換に際して、本製品に記録されたデータ(登録済みのユーザー情報や、アクセス履歴等)の保全について、当社では保証せず、当該データの消失、破損、変更等につきましては、当社は一切責任を負いません。修理をご依頼になる場合は、お客様の責任においてバックアップをとられるようお願いいたします。(定期的にバックアップをとられることをお勧めいたします。詳細は製品取扱説明書「8.18 バックアップおよび復元」を参照してください。)
4. 交換に使用する製品は故障品と機能、性能が同等な製品(再利用品を含む)とし、交換後にお届けした製品は、送付いただいた故障品の製品保証の適用を引き継ぎます。
5. 本製品保証は日本国内においてのみ有効です。

修理のご依頼は、購入先の販売店へご相談ください。

※なお、正常な使用状態で取り扱われていない本製品の故障に関しては、修理（無償保証規定に基づく無償での修理の他、有償での修理を含みます。）の対象外となりますので、予めご了承ください。

製品に関するお問合せは

〒108-0022 東京都港区海岸三丁目22番23号

日立LGデータストレージサポートへ

sales@hlds.co.jp

お問合せの際には、メールに製品保証書(必要事項記載済み)のコピーを添えてください。

(お問合せ内容によりご連絡に数日要する場合がございます。予めご了承ください。)

また、正常な使用状態で取り扱われていない本製品に関しては、テクニカルサポートの対象外となりますので、予めご了承ください。

当社では、お客様の個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護及び管理を行っております。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問合せへの対応、修理およびその確認連絡に使用させていただきます。

利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

付録A 製品仕様

主な製品仕様（全モデル共通）	
OS	Android™ 7.1.2（※）
システムメモリ	1GB
ストレージ	eMMC 8GB
ディスプレイ	29inch / 1920 x 540px タッチパネル
カメラ	RGB Camera(HD 1280×720)
Wi-Fi	○
Bluetooth	○
Ethernet	○
I/F	USB2.0ポート1個（USB OTG, サポートフォーマットFAT32/NTFS）
その他I/F	Relayポート（RS-232C及びWiegandはサポート不可）
電源	DC12V/4A
温度測定距離	0.3m ~ 0.8m (推奨距離 0.5m)
温度測定範囲	32 ~ 42°C
温度測定誤差	± 0.3°C
マスク認証時間	5秒以下
登録可能人数	最大1,000人
動作温湿度	5~35°C（温度測定時に推奨する周囲温度25°C/湿度65%）/湿度80%以下（ただし、結露無きこと）
保管温度	-20~60°C, 湿度90%以下

※ 本製品は Google Play に対応しておりません。

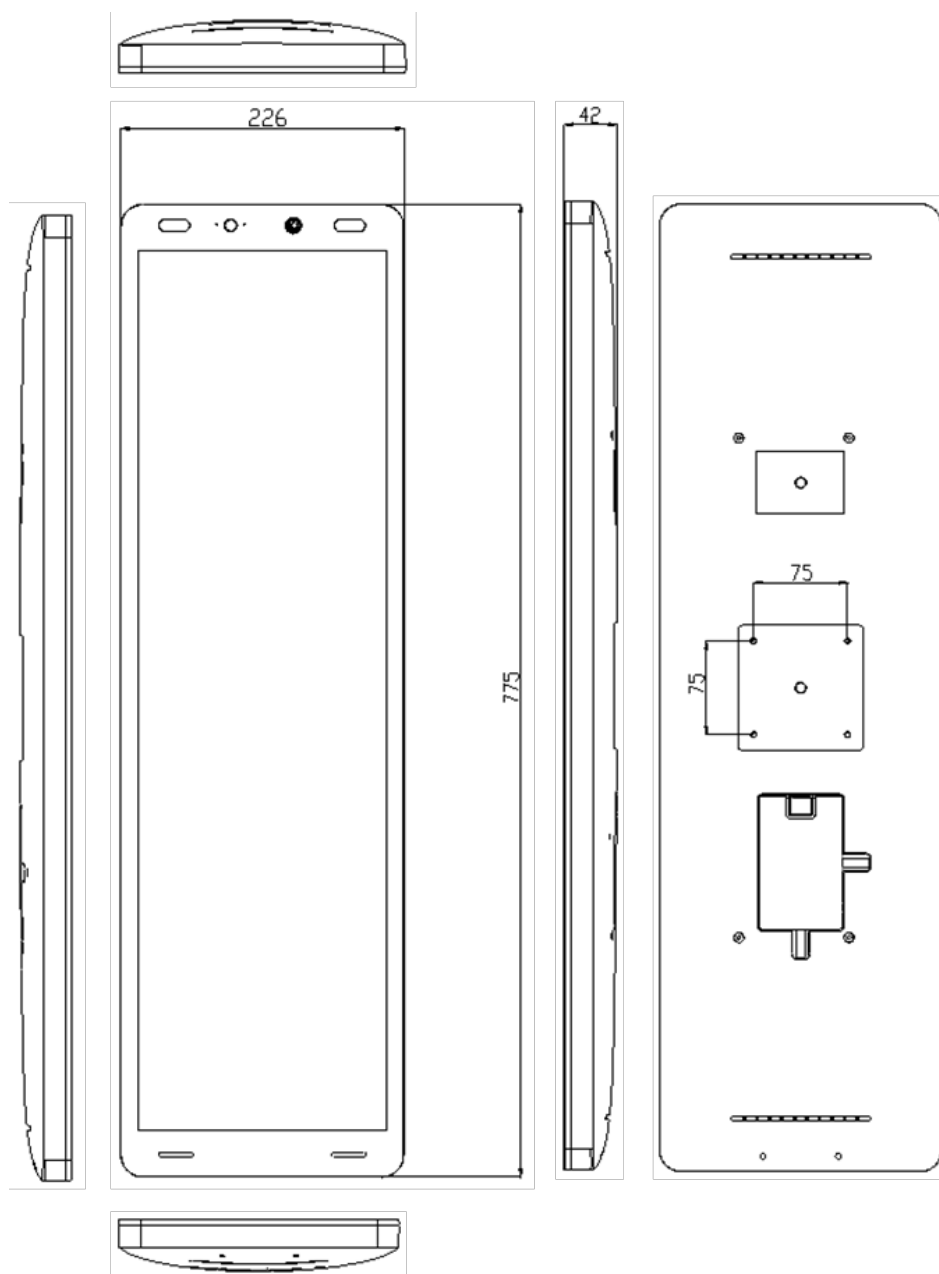
※ OS のバージョンは固定となります。

※ 本書記載の用途以外の用途により、本製品が使用された場合は、製品保証及びテクニカルサポートの対象外となります。

保証期間	1年間
※レシートや納品書など購入証明書は、ご購入日を証明する書類となりますので保証規定と併せて大切に保管願います。保証規定、修理規定、ご使用上の注意は本書に記載しています。	

付録B 製品サイズ

	重さ	大きさ (W x H x D)
端末本体	4 kg以下	226 mm x 775 mm x 42 mm
フロアスタンド	7 kg以下	400 mm x 1,215 mm x 400 mm



付録C 顔登録・顔認証ガイドライン

1. 顔登録時の撮影基準

- ・色付レンズのメガネ(サングラス)、帽子、マフラー、マスクなど、顔や顔の周りに写り込む身に着けている物を外してください。
- ・顔を照らす照明を均一にし、顔に影や光が映らないようにしてください。
眼鏡をしている場合は、レンズに光が反射しないようにしてください。
- ・背景は可能な限り白色又は青色の均一にし、影や光、他の人物や物が映らないようにして、顔と服と対照的にし、顔・服・背景の境界線がはっきりとするようにしてください。
- ・目は自然に開き、髪の毛が眉毛や目にかぶらないようにしてください。
- ・自然な姿勢で肩を水平に保ち、平常の顔表情で（歯を見せず）、正面写真となる様にカメラのレンズをまっすぐ見てください。

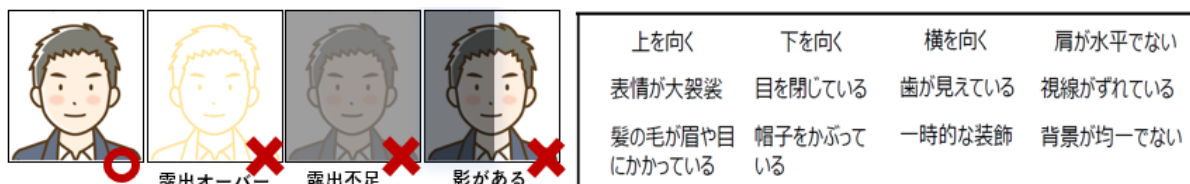
2. PC での登録に使用する写真の推奨基準

- ・登録可能な写真ファイルの拡張子は「JPEG（JPG）」「PNG」です。
- ・写真の大きさや品質は、顔認証結果に影響を及ぼすことがあります。推奨する写真の大きさは、証明写真（300x400ピクセル）程度の大きさです。写真のデータ容量は 20KB～1MB にしてください。
- ・6 カ月以内に撮影した写真で顔登録してください。
- ・顔が写真枠の中央となる様にして、頭頂から顎先端までの顔の縦の長さは写真枠の 70～(80%)を目安としてください。
- ・ピントのずれ、赤目減少や顔の歪みがない写真を使用してください。
- ・画像編集ソフトなどで、特殊効果を過度に加えた写真を登録した場合、顔認証が正常に行われない場合があります。

3. 顔認証時の推奨基準

- ・顔登録時の撮影状況と同等の環境（明るさ、照明の状況など）にさせていただきますと、顔認証率が安定します。

4. 不適当な写真の例



5. 注意事項

- ・髪の毛が眉毛や目にかぶっている場合や、マスクが目の下周辺まである場合は顔認証が正常に行われない場合があります。この場合は、髪の毛が眉毛や目にかぶらない/マスクを目の下から遠ざける様にして再度顔認証をお願いいたします。
- ・マスクから鼻が出ていますとマスク未着用と判定されます。鼻まで覆う様にマスク着用をお願いいたします。